



Go! Go!
GUITAR
Presents

Artist

アーティストが語るヤマハアコースティックギターの音像

Yamaha Acoustic Guitar

—YamahaギターLABO 総集編—



Lシリーズの魅力とその軌跡

1974年に誕生したLシリーズは、FGシリーズとクラシックギターで培った技術を融合させながら、今日に至るまでその品質を高めてきた。その原点である初号機から、Lシリーズを語る上で外せない“四天王”、80～90年代を代表するモデルなど、その系譜に燦然と輝く名機たちを紹介する。

FGの最上級モデルがLシリーズへ 国産手工ギターの幕開け

日本のフォークギターの草分けであるFGシリーズは、国内のみならず海外でも確固たる地位を確立し、ヤマハは量産だけでなく手工による高級ラインナップを模索し始める。1971年、FGシリーズの頂点であるFG1500 / FG2000が誕生。1974年にFGシリーズの最高級機種として開発していたFG3000を、高級感をより前面に打ち出すべく、「L-31」として発売（同時にFGシリーズもフルモデルチェンジ）。これがLシリーズが産声を上げた瞬間である。

贅沢や高級品などを意味するラグジュアリー（Luxury）から名付けられたLシリーズは、豪華なインレイや、表板に使用されたエゾ松の白い外観も相まって高級感を生み、さらにスケールを従来の637ミリから651ミリへと変更するなど、FGシリーズとは一線を画すスペックで鮮烈なデビューを飾る。翌年には、さらなる拡売のために価格を抑えたラインナップを追加。パリエーションモデルを続々と展開していく。1975年、タイプの異なるサンプルモデルを4機

種製作。そして演奏性やサウンド、外観など、ユーザーの好みに合わせて仕様を調整できる「スペシャルオーダーシステム」を採用し、ヤマハギターを持ってもらおうという取り組みを開始する。その基本となるモデルが、“Lシリーズ四天王”と呼ばれるL-51 / L-52 / L-53 / L-54である。外観や仕様も先鋭的だった4機種は、国内外のアーティストを魅了。アーティストとのやり取りの中で開発された新たな技術、そして現場の声が製品作りにも反映され、Lシリーズはさらなる発展を遂げていく。

2014年にA.R.E.を全モデルに投入 熟練の技は脈々と受け継がれている

1980年には、LシリーズのフラッグシップモデルであるL-55カスタムが誕生。L-52がCJ-52カスタムとしてCJシリーズへ移行し、斬新なボディスタイルを持っていたL-51はマーティンの000（トリプルオー）を意識した、より小型なセミジャンボボディを採用したS-51へと進化。さらにこの頃、アーティストとのリレーションが強固なものになってきたヤマハは、1982年にL-53のボディをひと回り小さくしたLA（ラ

グジュアリーアーティスト）シリーズを発表。レコーディングでのマイク録りに最適な音色バランスを誇る本シリーズは、数々のレコーディング現場を支えた。

1980年代半ばになると、ライトゲージでも豊かな低音域と力強さのある音色が求められるようになり、石川鷹彦氏の協力のもとLL-55Dを開発。同時に、Lシリーズ四天王の登場から10年目という節目もあり、ジョイント部やプレイングにも改良がなされ、モデルチェンジとともに品番もLからLLへと変更。ボディシェイプの表記がアルファベット2文字で統一される。その後も1996年にカスタムモデルがマイナーチェンジし、2004年にはLシリーズ誕生40周年という節目でフルモデルチェンジ。さらに2014年には、A.R.E.を全モデルに採用。現在は、LL86 Custom AREを頂点とするラインナップが展開されている。

クラシックギターで培われた技術を昇華させ、スペシャルオーダーシステムによってプロミュージシャン、さらには一般ユーザーの声も取り入れつつ、熟練の技をさらに研ぎ澄ませてきたLシリーズ。そのマインドは時代を超えて、現在に至るまで脈々と受け継がれている。



▲1975年に発表された4機種。L-51はもっとも小型で、リードプレイやレコーディングを想定した仕様となっている。最大の特徴は左右非対称ボディで、低音弦側はトッドウエスタン（FG）、高音弦側はフォータイプ（FS）を採用。後継機種は発売されず短命に終わったが、2010年にL-51 CUSTOMとして限定復刻。

▲カントリージャンボタイプのボディで、白い四角型のピックガードが印象的。ポール・サイモンの愛用でも知られる（彼が所有するL-52はボディをやや小型にカスタマイズ）。Lシリーズ四天王は重量が重い傾向にあるが、これはレコーディングでのマイク乗りを意識し、ボディが鳴り過ぎないように重量を上げて音を締めているため。

▲L-31の兄貴分に当たるモデル。表板はエゾ松単板、側板と裏板にハカランダ単板を使用し、さらなるラグジュアリーを追求するためヘッドにメキシコ貝をふんだんに使用する。ネックはV字型で、現代の仕様に通じる5層構造を初めて採用している。このL-53をベースに、のちのLLへとつながっていく。

▲ボディ形状はFGシリーズと同じ。側板と裏板にメイプル単板、ネックにもメイプルを使用。L-53と同様、バインディングは黒のバイアス模様。ヘッドや指板インレイには平行四辺形を用いた意匠が、ピックガードにはホトギスのインレイが施されている。また、ネック背面や側板&裏板は朱色の塗装が施されている。

Lシリーズの記念すべき第1号モデル



FG2000のさらに高級品番に当たるモデルとして開発されていたFG3000だが、FGシリーズの大きなモデルチェンジに伴い、高級路線をより訴求すべく急速モデル名を変更。1974年にLシリーズとして発売されたのが、このL-31だ。Lシリーズの初号機で、ヤマハカスタムモデルの原点である。FG1500やFG2000と同様、表板には高級感溢れるエゾ松が使用され、スケールは637.2ミリ

よりさらに長い651.9ミリを採用している。表板と裏板、ポジションマーク、さらにブリッジの両サイドやブリッジピンのトップにも施されたメキシコ貝によるインレイも目を引く。翌1975年には“Lシリーズ四天王”（P.3参照）の他、さらなる拡売のために価格を抑えたラインナップ（L-5 / L-6 / L-7S / L-8 / L-10 / L-15 / L-12S / L-12SN / L12-5 / L12-8）も追加されている。



▲見事な首のハカランダ単板を側板と裏板に使用。ちなみ、ハカランダとはブラジリアンローズウッドのこと。当時も今も貴重な高級材と言え、1975年から通常のヘッド形状に変更。



▲サウンドホールと指板の周りを囲むインレイも見事。なお本機はプロトタイプのため、サウンドホール内にラベルは貼られていない。

- DATA**
- 発売期間：1974～1977年
 - 価格（発売時）：200,000円（税抜）
 - 表板：エゾ松単板
 - 側板&裏板：ハカランダ単板
 - ネック：マホガニー
 - 指板/ブリッジ：エボニー
 - ペグ：ダイキャストゴールド

90年代を代表するモデル～現行ラインナップの最高峰



▲1996年発売。プロミュージシャンとの交流を経て生まれた、ラグジュアリーアーティスト（LA）シリーズ。前身のLA-57 Customは1984年に誕生。オンマイクでのレコーディングの際に、低音が鳴りすぎない理想的なサウンドを目指して開発された。ピックガードが取り付けられていないのは、“かき鳴らさない”プレイを想定しているため。

▲1997年発売。前身となるLL-55Dは1985年に発売。80年代に入り、ミディアム/ヘヴィゲージよりもライトゲージが主流になる中、ライトゲージでも低音域と力強さが欲しいという要望から開発された。モデル名末尾の“R”はローズウッド（インドローズ）を意味する。当時のLシリーズの頂点に位置するモデル。

▲1997年発売（写真はプロトタイプ）。LL-55D Rと同じくL-53直系のモデルだが、左右非対称のXプレイングやスキャロップを入れるなどの進化が見られ、サウンド特性は大きく異なる。なおモデル名のDは“ダイナミック”を指しており、この時代のボディスタイルは2つのアルファベットで表されている。

▲2014年発売。長年にわたるモデル開発と技術の蓄積を経て誕生した、現在のLシリーズの頂点に位置するモデル。スクエアフレーム構造や石粉目止めといったヤマハならではのハイレベルな技術が注ぎ込まれた、まさに熟練のギタークラフトの結晶と言えるだろう。受注生産によるハンドクラフトモデルとなっている。

Lシリーズ現行モデルのラインナップは、P.8～9（LL）、P.18（LJ）、P.24（LS）、P.28（LX）をチェック！

参考書籍 『ヤマハアコースティック ギター大全集』



定価：本体2,800円＋税
仕様：B5判縦 / 112ページ

▲1966年、ヤマハの初代フォークギターが完成してから50年となる2016年に刊行。工場での独自取材や、OBも含む開発者へのインタビュー、歴代人気モデルの詳細などに加え、吉川忠英や沖仁のインタビュー、中島ゆきが愛用するカスタムモデルも掲載。さらに、1960～90年代のカタログレクシジョンなど資料性も高く見どころ満載！

南こうせつ

Yamaha Acoustic Guitar

日本のフォークシーンを代表する存在として約50年間、第一線で活躍を続ける南こうせつ。

その優しい歌声とつま弾くギターの音色には、世代を超えて誰もが癒される普遍的な魅力が宿っている。10代の頃からヤマハのギターを愛用し、カスタムモデルの使用歴も40年以上の彼が、その魅力を語る!



ギターを抱いて毎日歌ってください。 弾けば弾くほど音が馴染んできますよ

PROFILE みなみこうせつ/49年生まれ、大分県出身。70～75年には、かぐや姫で活躍。代表曲は「神田川」「赤ちょうちん」「妹」など。75年よりソロ活動を開始。現在もなお第一線で活躍中。19年にはデビュー50周年を迎える。
<http://www.kosetsu.com>

K.Minami's Yamaha Acoustic Guitar



Kohsetsu Minami Order Made Folk Custom (No.1)

◀ 74年11月完成。南こうせつカスタムモデルの記念すべき第1号で、L-53がベースとなっている。ヤマハのプロ向けのオーダーメイドカスタムでは8本目。特徴的なピックガードはL-52の仕様で、ヘッド形状はL-54の仕様(SGタイプ)。当時の設計担当者から、工場に「すごいアーティストのギターを作るようになったら気持ちを入れて作ってほしい」と通達が出たことは、現在も伝説としてヤマハ社内で語り継がれている。



▲ ボディバックはハカランダ単板と黒檀(エボニー)の3ピースで、サイドのボディエンド部も同様の仕様となっている。



Kohsetsu Model Order Made Custom (No.2)

▲ 75年3月完成のカスタムモデル第2号。通称「黒ヤマハ」。L-52を少し小ぶりにしたボディシェイプが特徴で、現在のメインであるKM65 Limitedのルーツとも言えるだろう。ブリッジ形状も特徴的だ。当時はパーカスベリーのコンタクトピックアップをブリッジ下部に埋め込んでいたが、今は外している。



Kohsetsu M Special Guitar S-51 "桜" (No.5)

Kohsetsu M Special Order S-50EX "蓮" (No.6)

▲ (左上) 80年7月完成。ファンの方々にはおなじみの1本。L-51の進化系として同年に発表されたS-51がベースとなっている。桜の蒔絵は職人の手によるもの。

▲ (右上) 86年6月完成。ボディサイド&バックにメイプルを採用し、繊細な音の特徴。「桜」と同じく、蓮の蒔絵は職人の手によるもの。なお、この頃までは「こうせつ」のローマ字表記は「Kohsetsu」となっているが、その後「Kosetsu」に変更されている。

▶ (下) 03年6月完成。当時のフラッグシップモデルLL86 Customがベースになっている。硬めのサウンドが特徴。この後、09年に完成したボディトップに、南が大好きで自ら描いた「さくらの花」が蒔絵で再現されているLJ36KM "HANA"を経て、KM65 Limited "犬丸太夫"に至る。



LL86 Custom for K.Minami "桜 II" (No.7)



KM65 Limited "犬丸太夫" Prototype (No.9)

◀ 14年完成。こちらはサイド&バックがマホガニー単板で軽く、優しい音の特徴。当初は、こちらがメインとなる予定で製作されていた。KM65 Limitedに材が異なる2本が存在していることは意外と知られていない。コンサートやテレビ出演の映像を観た際には、どちらを使用しているかぜひチェックしてみてください。



▶ 同じく14年完成。ボディ材は、トップがイングルマンスブルース単板(A.R.E.)、サイド&バックはインドローズ単板。ネックはマホガニー+パッドク5ピース、指板は黒檀。同年、シグネチャーモデルKM65 Limitedとして発売されている(限定20本)。なお、ジョン・デンバーのモデルにも桜のポジションマークがあらわされているが、これは79年に南こうせつ本人のアイデアで初めて実現したものであり、それをジョンが見て気に入り、自身のモデルにも採り入れたという経緯だ。



KM65 Limited "犬丸太夫" (No.10)



▲ 2本を並べて撮影。サイド&バックの材は、左がマホガニー単板で右がインドローズ単板。ストラップピンの位置が異なる点も興味深い。



▲ 正面からは、蒔絵の微妙な違いやピックガードの模様、ボディトップの木目などで見分けることができる。左がプロトタイプ(No.9)で、右がメイン(No.10)だ。

— まずはヤマハギターとの出会いについて教えてください。

1968年(当時18～19歳)で、FG180を購入したのが最初です。当時としてはもっとも高いギターで、高嶺の花でした。親にねだったりアルバイトしたり、やっとの思いで手に入れたのを覚えています。毎日、宝物のように弾いていました。

— その後もヤマハを愛用されていますが、どんな点が気に入っていますか?

日本のような変化の激しい気候の中でも見事にバランスを保っているのが、コンサートツアーには絶対に欠かせません。そして、何と言ってもサウンドですね。ストロークプレイでもバラードでも、味わいのある音を出してくれます。

— 40年以上に渡ってヤマハのカスタムギターを愛用されています。

カスタムモデルは10本になります。最初は、かぐや姫をやっていた時。正やん(伊勢正三)と一緒に浜松のヤマハ本社に行って、スペシャルオーダーシステムのサンプル4本(いわゆる「Lシリーズ四天王」※P.2～3参照)を弾かせてもらったんです。そこでL-53が気に入って、カスタムモデルを作ってもらうことになりました。白いピックガードのモデルですね。これはネックの補強のために黒檀(エボニー)が使われているんです。ボディバックのセンターにも黒檀が使われているので本当に重いのですが、そのぶん低音がものすごい。鳴りを保ちながら重量を調整することはうちの課題にはなりましたが、ここから始まったんですよ。76年の日本武道館(※日本人アーティストとして初の単独公演)で使ったことも、よく覚えています。

— 2本目のカスタムは75年に完成。Lシリーズ四天王のL-52がベースになっています。

L-52は反応が良いので、これだったら小ぶりなボ

ディにしてもいいんじゃないかというアイデアですね。パーカスベリーのピックアップがブリッジに埋め込まれているのですが、当時はボディトップの表側に貼るというのが当たり前の時代だったので、かなり試行錯誤しました。歪んだりハウったりするので、コンサートのリハーサル前にヤマハの方と一緒に試しながら研究していましたね。ある時、テレビの生放送でリハーサルにそれほど時間を取れないので、どうしてもボディの中いばいにスポンジを詰め込んで演奏したこともあります(笑)。

— 同時期に、伊勢正三さんはL-53のカスタムモデルを製作しています。興味深いのは、お二人が現在もこの時のシェイプを愛用されている点で、当時すでにプレイスタイルが確立されていたのかなと。

ああ、なるほど。そうかもしれないですね。

— その後、ファンの皆さんにはおなじみの「桜」や「蓮」、さらに「桜II」を経て、2014年以降は65歳&デビュー45周年の記念モデルとして製作されたKM65 Limited "犬丸太夫"を愛用。オリジナルのボディシェイプで、2本目のカスタムに戻ってきたような印象も受けます。

そうですね。当時もそうだったのですが、「小ぶりでもちゃんと鳴るギター」ということで製作してもらいました。以来、メインギターとして5年目になります。日本全国、年中一緒に旅をしてきて、文字通り成長しています。

— ボディトップのデザインは、こうせつさん自身が描かれたものが元になっているとか。

そうですね。僕が描いた絵が蒔絵で再現されているのですが、市販されたシグネチャーモデルも含めて、蒔絵職人の方が1本1本仕上げられています。

— そして、見た目はほとんど同じで材が異なるプロトタイプもあるそうですね。



当初のコンセプトは柔らかくて優しい音で軽いものということで、(裏側板の)素材はマホガニーで進んでいました。ただコンサートでの使用を考えると、ローズウッドのほうが万能で音が遠くまで届く感じがしたので、こちらがメインになりました。でも、マホガニーのほうもとても良いギターで、軽い優しい音がするんです。そこで、テレビや小さな会場、レコーディングなど大きな音を出さなくていい場面では、プロトタイプを使用することも多いですね。実は、そうやって使い分けています。

— 貴重なお話をありがとうございます。では最後に、今後の活動予定を教えてください。

《南こうせつコンサートツアー2018～おもかげ色の空～》が11月まで続きますが、その後12月20日(木)には東京芝公園のメルパルクホールで《南こうせつコンサートツアー2018～さよなら60代～》を行います。そして来年はデビュー50周年ということで、精力的にコンサートツアーを開催予定です。

— ギター演奏を楽しんでいる読者の皆さんにメッセージをお願いします。

ギターを抱いて毎日歌ってください。弾けば弾くほど音が馴染んできますよ。

大石昌良

Yamaha Acoustic Guitar

LS36を
使っていなかったら
今のプレイスタイルが
開花することもなかった

バンドの“Sound Schedule”、ユニットの“OxT”、
アニソンをメインとした“オーイシマサヨシ”、
そしてアコギを基調とした“大石昌良”と、
作詞作曲も歌も担当し、4名義すべてで精力的に活動する
アーティストは日本中を探しても稀有だろう。
そんな彼が約15年も愛用しているのが
ヤマハのLS36である。
マルチに活躍する彼を支える“相棒”の魅力とは。

PROFILE おおしまさよし / 80年、愛媛県生まれ。01年、Sound Scheduleのボーカル&ギターとしてデビュー。08年よりソロ活動を展開し、“オーイシマサヨシ”名義でアニメ主題歌やアーティストへの楽曲提供を行う。http://014014.jp



—現在愛用しているヤマハLS36との出会いは？

03年かな、もともと所属事務所がヤマハだったこともあって、“ぜひ大石くんにヤマハのギターを使ってもらいたいんだよね”とお声がけいただいたからずっと使っています。バンド Sound Schedule でバリバリ活動していたときですね。

—当時はどのような使い方をしていましたか？

ポップスバンドだったので、インストライブとかアコースティック編成でライブをすることが多かったんです。そのときにエレキを持っていたら格好つかないからという理由で使い始めたんですけど、その前からヤマハの真っ白なコンパスを使っていたんですよ。その頃からヤマハのアコースティックギターとはお付き合いがある感じです。

—こちらはプロトタイプなんですよ。

そうです。もともとはLS36を作るときのプロトタイプなので、市販のLS36とは胴の深さが違ったりします。開発の方にインタビューしてもらったりディスカッションしながら製作してもらいました。ぶっちゃけた話をする、当時使っていたのは他メーカーのヴィンテージギターだったんです。なので、音の深みとか、木材が枯れているぶんだけ音の立ち上がりが違うというような生意気な話をさせていただいたこともあります(笑)。ただ、08年からソロとして弾き語りライブを始めるとそれが逆転したんです。それまでは、二大巨頭であるマーティンやギブソンはネームバリューもあるし、持っているだけでカッコいいとか、ギターキッズ心みたいなものがあってのですが、ライブで使っていると何せ指が疲れる。2時間ずつとアコースティックギターで弾き語るという綱渡りの

状態で、お客さんと一対一で面と向かっているときに集中力が途切れるさっかけて意外と疲労だったりするんですよ。

ヤマハのアコースティックギターは、日本人の手に合わせたネックだったりグリップを研究しているから、長時間弾いても疲れない。あと、汗をかいてボディが鳴らなくなるといことが、ヴィンテージギターだと僕の経験上はあったんです。もちろん、音の粒立ち感はヴィンテージにはヴィンテージの良さがあるんですけど、ヤマハはバランスや調和が取れているイメージが強く、そのあたりが弾いて気持ちいいなって思いついて、考え方が徐々に逆転していきまして。今では他のギターが握れないくらいですから。あと、プレイスタイルがピック弾きからフィンガーピッキングにシフトしたのも大きいと思います。

—ピック弾きから指弾きに変わると、LS36がフィットしていった？

そうですね。あとは、本当にいいものを選び始めたのもあると思います。他のブランドのギターも弾く機会はあるんですけど、やっぱり指が合わないと思っちゃうんです。結局、ふるさとの味が忘れられないみたいな(笑)。だからメイドインジャパンって素敵なことなんだなって思いますね。あともうひとつ、スタッフが日本人じゃないですか。アフターケアだったり、メンテナンスにおける言語の弊害がないというのは大きなアドバンテージだと思います。全国どこに行っても、ヤマハが提携する楽器屋さんがあるのでメンテがしやすい。ギターってデリケートなので、やっぱり調子が悪くなることもありますから。そういう部分も大事だなと思います。

—いくつかモデルがある中からLS36を選んだんですか？

そうですね。LL、LJ、LSの3つを弾いて、LSの小さいサイズが自分のスケールに合っているなと思って選びました。

—結果的にLS36を選んで良かったですね。

良かったですね。ちょうどそのときトリプルオーに憧れを持っていたから、余計に小さいサイズのギターが欲しいと思っていて。

—プレイスタイルに合わせて調整はしていますか？

プレイに合わせてブリッジを少し削って弦高を低くしています。ストラップをしやすいようにと、タッピングするとき弦高が高いと叩く速度や力が強くなってしまふので、タッピングとかスラム奏法をすると指が疲れちゃって2時間のステージがもたないんですよ。あと面白いと思うのは、よく指板を叩いてスネアの音を出すんですけど、弦高を下げることでその音がスネアのスナッピーの音のように聴こえるんです。タッピングした瞬間に弦がビビってそういう音が鳴るので、面白く使わせてもらっています。

—弦高が低いと演奏性は上がりますが、ピッチは不安定になりがちですよ。

そうです。ヤマハのアコギは非常に調整というかバランスが取れているという話をしましたが、弦高を低くしても他メーカーに比べるとビビリが少なかったり、バランスを保ったまま弦高を低くできるイメージがあって、それは僕にとって相当なアドバンテージになっています。あと、僕はレギュラーチューニングの他に半音下げ、1音下げというテンション的にちょっと無茶をしているようなチューニングが多いんです。多少、テンションが変わったとしても、ギター自体が音を保とうとする能力が非常に高いので、ギターのポテンシャルってこんなに大事なんだなってすごく実感しました。

自分が大人になって、いろいろな音を聴くようになってようやく気付いた感じですね。最初は二大巨頭に手を出したいかもしれないけど、その先にある世界って広いような感じがして、日本人だからこそ、ヤマハに手をつけないのは灯台下暗しの感じがして寂しいと思うんです。ヤマハギターのポテンシャルを実感しているから、余計に若い世代の人にも手に取ってほしいギターだと思います。僕は特にミュージシャンはドメスティックでなんぼだと思ってるんです。日本人だからこそ得られる日本のギターの特長や恩恵は絶対にあると思うので、本気でギタリストを目指す方は一度見直してみたいと思います。

—最後に、読者のみなさんにメッセージをお願いします。



僕がLS36を使い始めた頃って、ちょうどLシリーズの誕生40周年でLLから分岐してLSやLJというモデルが生まれたタイミングだったんですよ。よく思うんですけど、そのときに仮にLS36を使っていなかったら、今のプレイスタイルが開花することもなかったと思います。僕には“いいスキルはいい道具から”という持論があって“弘法筆を選ばず”だと思うんです。いいギターが教えてくれる、音楽のスキルだったりギターの楽しさって絶対にあると思うんですね。だって、自分がギターをつま弾いていて、いい音が出たらそれだけで気持ちいいじゃないですか。練習もたくさんするし。そういう意味では、自分が仮にこ

うやってインタビューを受けてギタリストとして評価されているのであれば、04年に僕にギターをモニターしてくれたヤマハのスタッフさんが、僕を生んでくれたと言っても過言ではないと思っています。よく楽しそうに弾きますねって言われるけど、それは楽器もそうだしスタッフさんもそうだしお客さんもそうですけど、僕を取り巻くすべてのものがそうさせてくれていると思う。お客さんは自分では選べないスタッフさんも縁だったりするけど、楽器や道具はコントロールが効く部分だと思うので、道具選びは自分で自分をプロデュースできる大事な要素のひとつだと思います。

Oishi's Yamaha Acoustic Guitar



▲04年からの長年の愛機。ボディトップはイングルマンスブルース単板で、サイド&バックにはインドローズ単板を採用。プロトタイプのため、市販のものに比べてボディ厚がやや薄い。ラベルには製造を示す日付と“PROTO”という文字が。



▲ピックアップはシステム41。通常のLシリーズには極力ボディに穴を開けないプッシュ/プッシュノブが採用されているが、彼の要望によりCPXシリーズで採用されていたタイプのプリアンプを内蔵。ピエゾをマグネティックピックアップに交換している。

オリジナル
ジャンボボディ

LL series

ヤマハ伝統のボディ・スタイルで胴厚は100～125mm。
フルサイズのボディによって生み出される豊かな音量と幅広いダイナミックレンジ、
バランスに優れたトーン、美しく透明感のあるサウンドが特徴。

LL86 Custom ARE

希望小売価格：1,800,000円(税抜)
※受注生産品・日本製

▶厳選された最高級の本材と、熟練のクラフトマンの技術によって生み出される、Lシリーズのフラッグシップモデル。表板はA.R.E.(Acoustic Resonance Enhancement)を施したイングルマンズブルース単板、裏板はハカランダ2ピース単板、側板はハカランダ単板を採用。



LL56 Custom ARE

希望小売価格：500,000円(税抜)
※受注生産品・日本製

▶LL86 Custom AREと同様、厳選された最高級の本材と熟練のクラフトマンの技術が生きる。その音色と細部にまでこだわった外観は、まさに芸術作品。表板はA.R.E.を施したイングルマンズブルース単板、裏板・側板はインドローズ単板を採用。



LL36 ARE

希望小売価格：360,000円(税抜)
※受注生産品・日本製

▶クラフトマンが長年培った技術と経験を元に、広いダイナミックレンジと絶妙な音量バランスを実現。手細工によるインレイや極薄のラッカー塗装など、Lシリーズのコンセプトである“ラグジュアリー(豪華)”というキーワードを明確に表現。表板はA.R.E.を施したイングルマンズブルース単板、裏板・側板はインドローズ単板を採用。



LL16D ARE

希望小売価格：130,000円(税抜)

▶LL16 AREをベースに、ボディバインディングとサウンドホールにアバロンインレイを施し、ポジションマークにはダイヤモンドデザインのインレイを採用。上位モデルLL36 AREを彷彿とさせる豪華なラックスと高音質を実現している。パッシブタイプピックアップ搭載。カラーは、ナチュラルとブラック。



LL16M ARE

希望小売価格：95,000円(税抜)

※L-Island プラチナディーラー限定モデル
▶LL16 AREをベースに、裏板・側板に高品質のマホガニー単板を採用。クリアで温かみのあるサウンドを実現している。パッシブタイプピックアップ搭載。L-Island プラチナディーラー(LシリーズやAPX/CPX/Aシリーズなど豊富なラインナップを取り揃え、ヤマハアコースティックギターの魅力をもっと体感できる特別なショップ)のみで販売されている限定モデルだ。



Back Style



LL16L ARE

希望小売価格：125,000円(税抜)

▶LL16 AREのレフトハンドモデル。表板はA.R.E.を施したイングルマンズブルース単板、裏板・側板はローズウッド単板を採用。ネックはマホガニー+ローズウッドによる5プライ構造で、握りやすいネック形状も魅力となっている。パッシブタイプピックアップ搭載。



LL6 ARE

希望小売価格：60,000円(税抜)

▶改良されたプレイングデザインにより、優れた音量バランスを保ちながら、より力強く、より大きな音量を実現。表板はA.R.E.を施したイングルマンズブルース単板、裏板・側板はローズウッドを採用。パッシブタイプのピックアップを搭載している。カラーは、ナチュラル、ブラック、ブラウンサンバースト、ダークティンテッド。



LL26 ARE

希望小売価格：290,000円(税抜)
※日本製

▶開放的で成熟したサウンドと、抜群のレスポンスを備えたモデル。オープンギアタイプのペグなど、落ち着きのあるヴィンテージフレアー溢れるデザインも魅力。表板はA.R.E.を施したイングルマンズブルース単板、裏板・側板はローズウッド単板を採用。



LL16 ARE

希望小売価格：100,000円(税抜)

▶新たにデザインされたプレイングとA.R.E.処理により、豊かで温かみのあるサウンドと開放的な鳴りを実現。バンドサウンドに自然と溶け込む優れたトーンバランスも魅力だ。表板はA.R.E.を施したイングルマンズブルース単板、裏板・側板はローズウッド単板を採用。パッシブタイプのピックアップを搭載している。カラーは、ナチュラルとブラウンサンバースト。

Back Style



LL16-12 ARE

希望小売価格：125,000円(税抜)

▶LL16 AREの12弦モデル。12弦ギターならではの幅広い音域を、明確な輪郭を持ったサウンドで再現。表板はA.R.E.を施したイングルマンズブルース単板、裏板・側板はローズウッド単板を採用。絶妙にバランスのとれた力強いサウンドが楽しめる。パッシブタイプピックアップ搭載。



ISEKI with LL-ISEKI

ヤマハ史上初のスペックとモデル名を持ったこだわりのカスタムギターです!



ヤマハ主催のイベント《Yamaha Acoustic Mind》に関わらせてもらって今年で4年目になるんですけど、ヤマハの方とのご縁だったり、2016年はヤマハギターが製造50周年という節目もあって、何か形に残したいなと思いカスタムモデルをオーダーしました。ヘッドや指板などは、Lシリーズの四天王と言われた名機2モデルのスペックを組み合わせています。モデル名のアルファベットのあとに名前(ISEKI)が付くモデルは史上初みたいで、構想から完成まで1年半かかりました。このスペックの組み合わせも、もちろんヤマハ史上初です!

2016年3月に完成したのでまだ“新人”ですが、新人にしてはかなりのいい音で、ローがしっかりと出ます。30年後、どんな音が鳴るのか今から楽しみです!



▲ボディトップにエゾ松、サイド&バックに希少材として知られるハカランダを使用した逸品。ヘッドシェイプや指板インレイなどは、70年代に登場したLシリーズの四天王、L-51とL-54のスペックを融合させている。

PROFILE イセキ / 80年生まれ。05年にキマブレンを結成。15年の解散後は、ソロアーティストとして積極的にライブ/イベント出演、TV出演を行っている。 <http://iseking.net>

LATEST ALBUM
CROSS HEART
※クラウドファンディングにて制作

MONKEY MAJIK メイナード with LL36 ARE

ラインでスピーカーから出す音が生音に近いことも魅力ですね



フィンガーピッキング時も、音がとてもはっきりしている点が気に入っています。ストロークで弾くときも音のレンジが広く、どんな楽曲にもしっかり対応できます。14年はツアーやフェス出演など、ステージで使用する機会も多かったのですが、ラインでスピーカーから出す音が生音に近いことも魅力ですね。



▲精緻なインレイや極薄のラッカーフィニッシュなど、職人が誇る高い技術が凝縮された逸品。「A.R.E.」は、長年弾き込まれたような豊かな鳴りを実現する独自の木材改質技術のこと。

LATEST SINGLE
ウマーベラス
¥926 + 税
エイベックス
発売中

PROFILE モンキーマジック/カナダ人の兄弟であるメイナード (Vo.Gt) とブレイズ (Vo.Gt)、日本人のDICK (Ba) とTAX (Dr) による仙台在住の4ピースバンド。06年、1st シングル「fly」をリリース。2nd シングルの「Around The World」がフジテレビ系ドラマ「西遊記」の主題歌として爆発的なヒットを記録。 <http://www.monkeymajik.com>

moumoon MASAKI with LL36 ARE

ギターの作りが本当に素晴らしいと気づかされる



アコースティックギターは、もう11年ほどヤマハのLL36 AREをメインで使っています。長く弾き込むほどに、ギター自体の作りが本当に素晴らしいと気づかされます。生音は、ボディの大きさ通りの迫力があり、レンジが広くとてもバランスが良いです。そして、アタック感が明瞭で表現の幅が広い、高級感のあるアコギの音色です。

もうひとつの魅力はライブのときの音で、このギターのラインの音は、他のどんなシステムよりも音楽的にいい音がすると思います。リハやライブのときに、周りのギタリストに“アコギの音がいいね”ってびっくりされることが多いです!

僕はLL36 AREの他にもLL26 ARE、LS26 ARE、NCX900Rなどのヤマハギターも使っています。ずっと昔、アマチュアの頃に買って、ずっと使ってきたFGもあります。どのギターもそれぞれに個性があって、何よりひとつひとつがていねいに作られていることがわかる、良い楽器です。どれも本当に大好きです。



▲“ラグジュアリー(豪華)”をコンセプトに、長年培った職人の技術と経験を結集して製作されたLL36。ヤマハ独自のジャンボボディで、精緻なインレイや抜群の鳴りを誇るラッカー塗装など、ギターを弾く喜びが実感できる逸品だ。

PROFILE ムームーン / 05年結成。YUKA (Vo) とMASAKI (Gt) によるユニット。07年、ミニアルバム「love me?」でメジャーデビュー。17年にはデビュー10周年の節目として初のベストアルバム「FULLMOON」をリリース。 <https://www.moumoon.com>

LATEST ALBUM
autumn moon -sentimental-
¥1,800 (税込)
エイベックス
※配信限定
発売中

高橋 優 with LL36 ARE

トータルバランスが整った
どんな場面にも活躍できるギター



繊細なサウンドです。《高橋優 LIVE TOUR 2014-2015「今、そこにある明滅と群生」》で使ったアコースティックギターの中で、もっとも高音の鳴りがいいです。バンドの中でジャガジャガと弾き語るよりも、弦1本1本の音色がより皆さんに届いてほしいということで、セッテリストの中でもアコースティックコーナーとバラードコーナーに位置付けている場面で使用しています。

ヤマハギターは万能。そんなイメージを僕は持っておりまして。ジャンルを問わず、さまざまなミュージシャンの方が使用しているからです。ツアーで使わせていただいたLL36 AREは、シャリッとした高音の鳴りが印象的な1本。メーカーによって音色や見た目に特色があり、もちろんヤマハにもその色があると思いますが、現状僕の印象としてはトータルバランスが整った、どんな場面にも活躍できる、そんなギターがヤマハの魅力のように思っております。



▲精緻を極めたインレイ、抜群の鳴りを実現する極薄のラッカーフィニッシュを採用。職人の技術が詰まった逸品で、広いダイナミックレンジと音量バランスは他の追随を許さない。

PROFILE たかはしゆう / 83年、秋田県出身のシンガーソングライター。10年、シングル「素晴らしい日常」でメジャーデビュー。15年7月、ベストアルバム「高橋優 BEST 2009-2015「笑う約束」」をリリース。 <https://www.takahashiyu.com>

LATEST ALBUM
STARTING OVER
【期間生産限定盤】 ¥5,500 + 税
【数量生産限定盤】 ¥4,500 + 税
【通常盤】 ¥3,000 + 税
ワーナーミュージック・ジャパン
発売中

Anly with LL36 ARE

バランスが取れていて、どんな曲にも合う
LL36 ARE を持つと壮大な曲が浮かびます



LL36 ARE は4年以上使っています。ふくよかな音で、バランスが取れていて、どんな曲にも合うかなと思って使い始めました。特に優しい曲とかミディアムテンポの曲に合います。曲作りのときは、手にしているギターで浮かぶ曲のイメージも変わるんですけど、LL36 ARE は壮大な曲が浮かびますね。このギターで作った楽曲はたくさんあります。

私はブルース調の曲も歌うんですけど、ブルースとヤマハギターの組み合わせって珍しいと思うんです。だけど、私と同世代の人たちにも聴きやすいブルースを演奏するんだったら、しゃがれたギターよりもヤマハギターのほうが似合うなって。だから、ライブはほぼLL36 ARE の1本でこなしています。

使い始めた頃よりも鳴りは格段に良くなっていますね。やっぱりギターは弾いてあげると喜ぶので、これからもずっとLL36 ARE を弾いていきたいなと思います。



▲ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用することで音の伝達と振動効率を上げ、熟成された味わい深い響きを獲得。ミディアムジャンボボディで、抜群のレスポンスを備えている。

PROFILE アンリィ / 97年1月、沖縄・伊江島生まれ。15年11月にドラマ「サイレン」主題歌の「太陽に笑え」でメジャーデビュー。ライブ情報は公式サイトにて！
<http://www.anly-singer.com>

LATEST ALBUM
LOOP
【初回生産限定盤】 ¥3,518 +税
【通常盤】 ¥2,778 +税
Sony Records
発売中

ex. サンドクロック 永田佳之 with LL36 ARE

僕のベストコンディションを
引き出してくれるギターがヤマハです



ピアノや他の楽器と一緒に演奏したときに、音が埋もれずにしっかりと前に出るので選びました。また、パーカッシブなプレイも多いので、ボディを叩いたときにバランス良く鳴ってくれるのも選んだ理由のひとつです。ピックで弾くとブライトな音や力強い音も出るし、指弾きでは丸みを帯びた優しい音になる。音の立ち上がりやレスポンスが速いので、ライブでも重宝しています。周りの楽器の音に溶け込みながらも、ちゃんとアコギの音を主張してくれる。ラインでも生音に近い音が出るので、ライブで弾いていて心地いいです。

ヤマハギターは、FGシリーズやLシリーズ等に見られるブライトな音やバランスの良さだけではなく、普通なら弾き込まないと味わえないような繊細な音が魅力だと思います。歌モノをやる上で、僕のベストコンディションを引き出してくれるギターがヤマハです。



▲オリジナルのジャンボボディで、ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用することで音の伝達と振動効率を上げ、熟成された味わい深い響きを獲得。ネックは高い演奏性を実現する新形状を採用している。

LATEST ALBUM
ハレルヤ
¥1,667 +税
日本クラウン
発売中

PROFILE ながたよしゆき / 86年生まれ、大阪府出身。11年、滝田周(Pf)と共にサンドクロックを結成。15年にミニアルバム「EPOCH」でメジャーデビュー。18年5月にサンドクロックを解散後、各タレント活動を開始。精力的にライブ活動を行いながら、自身の音楽活動に加え楽曲制作やアレンジなども行っている。

Shiggy Jr. 原田茂幸 with LL36 ARE

何にでも対応できる良くできたギター
鳴りの素晴らしさに速攻で惚れ込みました



LL36 ARE は16年7月に手に入れたんですけど、ヤマハのアコースティックギターを持つのも実は初めてなんです。個人的には小さいボディが好きなんですけど、LL36 ARE を弾いたときの鳴りの素晴らしさに速攻で惚れ込みました(笑)。何本か試奏した中でも断然いい音で、ジャキッとすげえいい丸すぎもしない。演奏スタイルやジャンルを選ばない、何にでも対応できる本当に良くできたギターだと思います。ピックアップのシステム60を後付けして、嫌な“ピエゾっぽさ”がないから、今後はライブで積極的に使っていきます。もちろん生音もいいので、レコーディングでも早く使いたいですね!

PROFILE シギー ジュニア/ポプスになり得るすべてのジャンル、取り分けモータウンサウンドやブルーアイドソウル、ロックミュージックをルーツに、独自のセンスで紡がれるフレーズと歌声がどこまでもキャッチーかつジャンルレスに多幸感を織り成す、4人組ハイブリッドポップスバンド。19年1月よりボーカル池田智子の凱旋公演となる富山から全国9都市を巡る全国ワンマンツアーがスタートする。
<http://www.shiggyjr.com>

LATEST ALBUM
タイトル未定
【初回限定盤】 ¥3,000 +税
【通常盤】 ¥2,500 +税
ビクターエンタテインメント
18年12月5日リリース

Now Printing



▲幅広いダイナミックレンジと優れた音量バランスはもちろん、手細工のインレイから極薄の駒全面ラッカー塗装に至るまで、L36シリーズの“ラグジュアリー(豪華)”というコンセプトを明確に表現。ピックアップはシステム60を後付けしている。

ステファニー with LL36 ARE

音の鳴りがキレイで、深みがあって、
弾き比べた中でもズバ抜けて良かったんです



LL36 ARE を使い始めたのは16年の秋から。新たな挑戦としてギターを始めたいなと思って、ヤマハのアコギを何本か試奏したんです。ボディが薄くて小さいモデルもあったんですけど、ギター初心者で無知な私でも音の違いをすごく感じて。LL36 ARE は音の鳴りがキレイで、深みがあって、弾き比べた中でもズバ抜けて良かったんです。実はヤマハのアコギを弾いたのは初めてで、今までは“生真面目”という勝手なイメージがあったんですけど、音がいいだけじゃなくて指板インレイや木製のバインディングなど、細部の装飾にもこだわっているからファッション志向の私でも好きになれました。ギターをやっている人に見せると、“すごくいいギターだね!” って褒めてくれます。早く上達して、1人で弾き語りできるようにするのが今の目標ですね。



▲オリジナルのミディアムジャンボボディで、トップに「A.R.E.」を施したイングリッシュブレス単板、サイド&バックにインドローズ単板を採用。ネックはポリアリートを施した5層構造となっている。

LATEST MINI ALBUM
Aioto
¥2,130 +税
ティチエンタテインメント
発売中

PROFILE ステファニー / 89年生まれ。幼少期より芸能界で活躍し、09年に2人組ユニット“LOVE”としてメジャーデビュー。第43回日本有線大賞新人賞を受賞。解散後はタレントやモデルとして多方面で活躍。16年12月、カバーミニアルバム「Aioto」でソロデビューを果たす。

LITTLE BLACK DRESS RYO with LL36 ARE

ポップな曲でも哀愁のある曲でも、
ナチュラルに包み込んでくれるような音色に惹かれました



LL36 AREの使用歴は約1年です。ヤマハのギターを6機種くらい弾き比べたんですけど、LL36 AREを選んだ理由はルックスと音色。ポップな曲でも哀愁のある曲でも、ナチュラルに包み込んでくれるような音色に惹かれました。あと、LL36 AREはボディが響く感じ、鳴っている感じが体感できるんです。だから弾いて気持ちがいいです。

ピックアップはA.R.T.(アコースティックレゾナンストランスデューサー)を後付けしていて、スピーカーを通した音はスカッと突き抜けるような、一発目からガツンとくる音。ツマミが4つ(ベース/トレブル/メイン/マスター)しかないのも、エレコ初心者の方にとってわかりやすく、響きは手元のニュアンスがダイレクトに出力されるくらい鮮明です。ギターと一緒に成長できる部分があるので、モチベーションが上がります。曲作りはギターで行っているんで、LL36 AREではどんな曲が誕生するのか今から楽しみです!

PROFILE リョウ/岡山県出身。地元での路上ライブを中心とした活動後、16年4月に上京。MISIAのツアーのオープニングアクトに抜擢され、ルックスからは想像できないパワフルな歌声とパフォーマンスで注目を集める。ユニット「LITTLE BLACK DRESS」として活躍中。
<http://littleblackdress.website>



▲ボディ全体に極薄のラッカー塗装を施すことで、豊かなダイナミックレンジと優れた音量バランスを実現。ネックのウッドバインディングや、ボディのアバロンインレイによる精緻な装飾も魅力。

スキマスイッチ 大橋卓弥 with LL36 ARE

音のバランスが良く、ピックアップに乗せたときの音の粒立ちも素晴らしい



LL36 AREは17年から使っています。僕の場合、ギタリストのためのギターではなく、やっぱり歌のためのギターが欲しくなるので、アコースティックギターに求めるものは自分の歌との相性を意識しますね。あとは音の大きさも歌には必要なので、鳴りの良さも肝心です。LL36 AREは音のバランスが良く、ピックアップに乗せたときの音の粒立ちも素晴らしいものがあります。ヤマハギターはピックアップシステムが非常にしっかりしているので、バンドの中でのサウンドと弾き語りのときのサウンドを、1本のギターで調整しやすいところが魅力だと思います。

PROFILE スキマスイッチ/大橋卓弥 (Vo,Gt,Harmonica)、常田真太郎 (Pf,Cho,Organ) からなるユニット。99年結成。03年7月、シングル「view」でメジャーデビュー。
<http://www.office-augusta.com/sukimaswitch>

LATEST ALBUM
スキマノハナタバ
~ Love Song Selection ~
【初回限定盤】 ¥4,000 + 税
【通常盤】 ¥2,800 + 税
AUGUSTA RECORDS
発売中



▲オリジナルのジャンボボディで、ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用することで音の伝達と振動効率を上げ、熟成された味わい深い響きを獲得。ネックは高い演奏性を実現する新形状を採用している。

馬場俊英 with LL36 ARE

低音域から高音域まで全体のバランスが良く
ストロークにもフィンガープレイにも向いている



僕は歌を歌いながら演奏するので、小さく大きく、強く弱く、歌の表現に合わせて声に寄り添ってほしいところがある。自分にとってのアコースティックギターの魅力。LL36 AREは2年くらい使っているのですが、低音域から高音域まで全体のバランスが良く、ストロークにもフィンガープレイにも向いていて、1本で何でもできると感じました。抱えたときのボディの感覚もとても合うんです。特に弾き語りのライブのときなどは、ピックアップやプリアンプ部でシーンに合わせたサウンドメイクが細かく行え、その時々で必要なバランスを手元で作ることが出来ます。バンド演奏時と同様に、他の楽器と馴染みやすい音像をコントロールしやすいです。ヤマハギターは、どのフレットでも音程がしっかりしていて、演奏や音楽に集中できることも魅力のひとつだと感じています。

LATEST ALBUM
ステップ・バイ・ステップ
¥2,778 + 税
ドリーミュージック
発売中

PROFILE ばばとしひで/67年、埼玉県出身。96年、シングル「星を待ってる」でデビュー。16年、デビュー20周年記念コンサート大阪フェスティバルホールにて開催。
<http://www.babatoshihide.com>



▲ヤマハが独自に研究・開発した木材改質技術「A.R.E.」を採用。温度、湿度、気圧を高精度に制御することで音の伝達と振動効率を上げ、伸びのある中低音と立ち上がりにも優れた高音成分を獲得。

wacci 橋口洋平 with LL36 ARE

キラッとした部分もよく抜けるので
アンサンブルの中でも存在感を出してくれる



LL36 AREを選んだ理由は、試し弾きをしたときに、弾きやすさと音のバランスがとてもいい印象で、それが大きな決め手になったように思います。僕は手が小さいのですが、ネックも太すぎずよくフィットしてくれたので、いい出会いをしたなと。とにかく生音から気持ちよく鳴るし、パワーがあるのに繊細で、キラッとした部分もよく抜けるので、バンドアンサンブルの中でもしっかり存在感を出してくれます。下のほうから上のほうまで音のレンジも広く、さまざまな場面で使えるオールラウンドな1本だと思います。ライブではアコギを弾きながら歌うスタイルなのですが、両手に余計な力が入らないので歌いやすく感じます。あとは、モニタースピーカーからそれほど大きくアコギを返さなくても、音の輪郭がちゃんとあるので聴き取れるところもいい部分です。ヤマハギターの魅力は、すごくバランスがいいところ。さまざまな曲、環境に対応できるギターで、大変助かっています。

PROFILE ワッチ/09年結成。メンバーは、橋口洋平 (Vo,Gt)、小野裕基 (Ba)、村中慧慈 (Gt)、因幡始 (Kb)、横山祐介 (Dr)。12年、ミニアルバム「ウィークリーウィークデイ」でメジャーデビュー。11/17(土)豊洲PITを皮切りに、19年4/6(土)神奈川県民ホール(大ホール)まで続く全国47都道府県ツアー開催決定。 <http://wacci.jp>

LATEST ALBUM
群青リフレイン
【初回生産限定盤 A】 ¥4,167 + 税
【初回生産限定盤 B】 ¥3,241 + 税
【初回生産限定盤 C】 ¥3,241 + 税
【通常盤】 ¥2,778 + 税
EPIC Records Japan
18年11月7日リリース



▲LLのオリジナルジャンボボディは、ヤマハ伝統のボディ・スタイル。フルサイズのボディが生み出す豊かな音量と幅広いダイナミックレンジ。バランスに優れたトーン、美しく透明感のあるサウンドが特徴だ。

コレサワ with LL36 ARE



低音が感じられて、歌いやすそうだな、自分の声と合いそうだなって思いました

アコギに求めるものは、まず見た目。可愛くて、持っていたいと思うものですね。それと弾いていて歌いやすくて、心地良い音がいいなって。LL36 AREは、くびれが少ない形が好きですし、清潔感のある見た目です。大事に作られているんだなと思いました。あとはいろいろ弾いてみた中で、一番低音が感じられて歌いやすそうだな、自分の声と合いそうだなって思いました。バラードにすごく合いそうだし、ミドルテンポの曲や可愛い曲にも合うんだらうなって。優しい音色で、お母さんみたいな印象です。

高校生のときはCPX700を使っていたんですけど、それはラインの抜けが抜群に良く、胸鳴りがしっかりしていたんです。叩いたらドラムのキックを踏んでるみたいに響くのも好きで。LL36 AREも、ボディを叩いたときにドンドンってしっかり鳴るといって、それは欲しい部分だったので嬉しいですね。早くライブで使ってみたいです。



▲オリジナルのジャンボボディで、ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用することで音の伝達と振動効率を上げ、熟成された味わい深い響きを獲得。ネックは高い演奏性を実現する新形状を採用している。

PROFILE コレサワ/大阪府摂津市出身。17年にアルバム「コレカラー」でメジャーデビュー。18年10～12月に開催の全国ツアー「コレでショー」の詳細は公式サイトにて!
<http://koresawa.jp>

LATEST ALBUM
コレでしょ
【初回限定盤】 ¥3,333 + 税
【通常盤】 ¥2,778 + 税
CROWN STONES / 日本クラウン 発売中

SCANDAL MAMI with LL26 ARE



持ったときのネックの握り心地と体に響く感じがすごく気持ちいい

HARUNAと一緒にアコギを見に行ったときに試奏して気に入りました。家で弾く用、宅録用に欲しいと思っていたので、ライブではまだ使っていません。持ったときのネックの握り心地と、鳴らしたときに体に響く感じがすごく気持ち良くて。ガッツリ弾いたときに、低音がちゃんと出て芯があるものを探してたんですけど、LL26 AREはアンプを通さなくてもめちゃくちゃいい音だったんです。すごく温かい音でした。ヤマハのアコギは全体で言うと、Aシリーズは新機能が揃っているし、プリアンプ部で細かく音作りができるしチューナーも付いてる。だけど、古き良きアコースティックサウンドも出せる。ヤマハのギターは、アコギの概念を超えています!

PROFILE スキャンダル/06年、大阪にて結成。メンバーは HARUNA (Vo,Gt)、MAMI (Gt,Vo)、TOMOMI (Ba,Vo)、RINA (Dr,Vo)。08年、シングル「DOLL」でデビュー。12年、異例の早さで日本武道館公演を開催。16年8月に結成10周年を迎え、結成地である大阪にて1万人を動員した野外コンサートを開催。
<http://www.scandal-4.com>

LATEST ALBUM
HONEY
【完全生産限定盤 (CD + Tシャツ)】 ¥5,278 + 税
【初回生産限定盤 (CD + DVD)】 ¥3,426 + 税
【通常盤】 ¥2,963 + 税
EPIC Records Japan 発売中



▲ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用することで音の伝達と振動効率を上げ、熟成された味わい深い響きを獲得。オープンギアタイプのペグなど、ヴィンテージライクな外観も見逃せない。

KEYTALK 寺中友将 with LL36C ARE



弾いた瞬間に“絶対にいいヤツ”だって悟りました今まで持ったアコギの中で間違いなく最上級!

中学生の頃に友達と2人でギターを始めたんですけど、その友達がヤマハのアコギを使っていて、それがヤマハギターとの出会いですね。家にあったギターよりも彼が使っていたヤマハギターの音量のほうがはるかに大きかったので、すげえ羨ましいなって思っていた記憶があります。あと僕は、ギターを始めたキッカケがゆずさんなので、大好きな岩沢厚治さんがヤマハのFGを愛用しているから憧れもあって。

LL36C AREは初めて手に入れたヤマハギターではあるんですけど、一発弾いた瞬間から感動で、絶対にいいヤツだって悟りました(笑)。ギター全体が鳴りに鳴りまくるといって、低音から高音までバランス良くかつキレイに鳴ってくれて、今まで持ったアコギの中で間違いなく最上級だと思えます。スピーカーにつないで出した音も、生音がそのまま出ている印象。

今後は、KEYTALKでアコギを弾く曲のレコーディングやライブ、1人での弾き語りのときに大活躍すると思います。ガンガン使っていきますよ!



▲オリジナルのジャンボボディを採用。独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用することで音の伝達と振動効率を上げ、熟成された味わい深い響きを獲得。ヘッドの音叉マーク、カットウェイ加工を施したカスタムモデル。

PROFILE キートーク/09年結成。メンバーは寺中友将 (Vo,Gt)、首藤義勝 (Vo,Ba)、小野武正 (Gt,MC,Cho)、八木優樹 (Dr,Cho)。10年3月、デビューシングル「KTEP」をリリース。13年、シングル「コースター」でメジャーデビュー。学園祭ツアーをはじめ、ライブ情報は公式サイトにて。
<http://keytalkweb.com>

LATEST ITEM
幕張メッセ ワンマンライブ
ド真ん中で頑張マッセ ~ shall we dance? ~
【完全生産限定盤 (Blu-ray)】 ¥7,500 + 税 【通常盤 (Blu-ray)】 ¥5,000 + 税
【完全生産限定盤 (DVD)】 ¥6,500 + 税 【通常盤 (DVD)】 ¥4,000 + 税
Getting Better / ビクターエンタテインメント 18年12月19日リリース

井上苑子 with LL26 ARE

1人で弾き語りをするときも気持ち良くてずっと弾いていたいなって思います



LL26 AREは15年12月から使い始めました。最初は弾きやすさ重視で小さなボディのギターを探してたんですけど、LL26 AREを弾いたら“絶対にこっちゃうわ!”と思うくらい音が好きで。広がりのある音で、音量も豊かだし深みもあるなって。まだ使い始めたばかりだけど、家でもよく弾いてますし、いい音やる?ってお母さんに聴かせたりしてます(笑)。

スピーカーを通したときの音も好き! 生音では聴こえない繊細な音が、スピーカーを通すと聴こえてくるんです。特に高音域なんですけど、すごく刺さるんですね。キレイだなって。あと私は声の音程が高いから、LL26 AREのように低音域が豊かなギターのほうが合うんです。1人で弾き語りをするときも気持ち良くて、ずっと弾いていたいなって思います。

ヤマハギターの魅力は、音がとにかくいいところ。私の声にも合っているし、私好みの音がします。いろんなライブを経験して、LL26 AREと一緒に成長していきたいですね。

LATEST SINGLE
ファンタジック
【初回限定盤】 ¥1,852 + 税
【通常盤】 ¥1,111 + 税
EMI Records
18年11月7日リリース

PROFILE このうえのこの / 97年12月11日生まれ、兵庫県出身。11歳から大阪・心斎橋で路上ライブを始める。15年ミニアルバム「#17」でメジャーデビュー。12月より「Inoue Sonoko Winter Tour ~ファンタジック~」を開催。
<http://www.inoue-sonoko.com>



▲オリジナルのジャンボボディにヴィンテージフレアーを溢れるデザインを採用。ネックは高い演奏性を実現する新形状。開放的で成熟したサウンドも魅力だ。なお、井上はLJ36 AREも愛用している。

ミディアム
ジャンボボディ

LJ series

“LJ”よりも小さめの音量だが、ストロークからリードプレイまで幅広く対応。胴厚は100～125mm。存在感のある低音と幅広いダイナミックレンジ、レスポンスに優れた歯切れの良いサウンドが魅力だ。

LJ56 Custom ARE

希望小売価格：500,000円（税抜）
※受注生産品・日本製

▶厳選された最高級の木材と熟練のクラフトマンの技術が生きた、LJシリーズの最上位機種。その音色と細部にまでこだわった外観は、まさに芸術作品と言える。表板はA.R.E.を施したイングルマンズブルース単板、裏板・側板はインドローズ単板を採用。

LJ36 ARE

希望小売価格：360,000円（税抜）
※日本製

▶クラフトマンが長年培った技術と経験を元に、広いダイナミックレンジと絶妙な音量バランスを実現。手細いインレイや極薄のラッカー塗装など、Lシリーズのコンセプトである“ラグジュアリー（豪華）”というキーワードを明確に表現している。表板はA.R.E.を施したイングルマンズブルース単板、裏板・側板はインドローズ単板を採用。

LJ26 ARE

希望小売価格：290,000円（税抜）
※日本製

▶開放的で成熟したサウンドと、抜群のレスポンスを備えたモデル。オープンギアタイプのペグなど、落ち着いたヴィンテージフレアー溢れるデザインも魅力。表板はA.R.E.を施したイングルマンズブルース単板、裏板・側板はローズウッド単板を採用。

LJ16 ARE

希望小売価格：100,000円（税抜）

▶新たにデザインされたプレイングとA.R.E.処理により、豊かで温かみのあるサウンドと開放的な鳴りを実現。バンドサウンドに自然と溶け込む優れたトーンバランスも魅力だ。表板はA.R.E.を施したイングルマンズブルース単板、裏板・側板はローズウッド単板を採用。パッシブタイプのピックアップを搭載している。カラーは、ナチュラルとブラウンサンバースト。

LJ6 ARE

希望小売価格：60,000円（税抜）

▶改良されたプレイングデザインにより、優れた音量バランスを保ちながら、より力強く、より大きな音量を実現。表板はA.R.E.を施したイングルマンズブルース単板、裏板・側板はローズウッドを採用。パッシブタイプのピックアップを搭載している。カラーは、ナチュラルとブラウンサンバースト。

ex.UNIST ZEN with LJ66

今までのヤマハギターのイメージを ひっくり返す衝撃的な音



約10年くらい使ってます。18歳のときに上京したんですけど、そのときはオールドギターしか使ってなかったんです。だから、新しいギターを買ったほうがいいなと思っているいろいろ試奏していて、最後の最後にヤマハのギターを弾いてみたら、それが今までのヤマハギターのイメージをひっくり返す衝撃的な音で。貝の装飾もそうですけど、ヘッドの音叉のインレイが気に入ってますね。普通はもっと小さいインレイだから、これは超レアです。

PROFILE ユニスト / GAKU (Vo.Gt)、TAMA (Vo.Gt)、ZEN (Vo.Gt) からなる3人組シンガーソングライターユニット。12年、シングル「無限フライト」でメジャーデビュー。16年の赤坂ブリッツワンマンをもって解散。

**LATEST ALBUM
Acoustic**

【初回生産限定盤】
¥3,056 + 税
【通常盤】 ¥2,778 + 税
エイベックス
発売中



▲ZEN自らがデザインしたインレイが魅力のオーダーモデル。希少材として有名なハカランダを使用。ボディの振動を最大限に生かすため、8つのプレーシングレイアウトを採用。レスポンスに優れたダイナミックなサウンドは圧巻の一言。

May'n with LJ36 ARE

私の音楽はLJ36 AREとともに さらに楽しくなっていきました



LJ36 AREはひと目惚れで、弾いている自分の姿を鏡で見たときに“カッコいい！”と思いました。ボディの厚みやネックの細さが私にちょうど良く、高音域を思い切り出してもキンキンせず、温かい響きを感じます。練習するのがとにかく楽しくなりました。私は踊りながら歌うというスタイルで、デビューしてから12年経ったとき、何か新しいことをしたい！という想いから、まずは近所の『ヤマハ大人の音楽レッスン』に通い始めたんです。バンドメンバーにそのことを話し、こんな音を出したい、こんな音が好きだと、理想のギター女子像を語っていたら、そういうアコギなら絶対にヤマハがいいよ！とオススメしてもらいました。ミディアム調のかわいい等身大な楽曲も歌える音、そして何よりも弾きやすさ。これからも私はヤマハギターでたくさんの音楽に出会っていきたくです！

**LATEST SINGLE
天使よ故郷を聞け**

【DVD付限定盤】
¥2,000 + 税
【通常盤】 ¥1,400 + 税
FlyingDog
発売中



▲ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用することで音の伝達と振動効率を上げ、熟成された味わい深い響きを獲得。ミディアムジャンボボディで、抜群のレスポンスを備えている。

瀬川あやか with LJ36 ARE

温かみがあるけどすごくクールな印象でまさに“ひと弾き惚れ”でした(笑)



LJ36 AREは16年12月から使い始めました。弾いた瞬間に“私ってこんなに上手だっけ!?”と思うくらい音がキレイで、高音域も低音域もバランス良く鳴ってくれて、温かみがあるけどすごくクールな印象の音色。まさに“ひと弾き惚れ”でした(笑)。選ぶときにLLやLSといった他のシリーズも試したんですけど、サイズ感とフィット感が良く、自信を持って弾けるか?と思えるような出会でした。ライブでもクリアに鳴ってくれて、弾き語りでもバンド編成でも音が抜けるのが気持ちいい。バンドサウンドに負けない存在感があります。まだまだ使いたてだけど、ヤマハギターは弾き手に寄り添ってくれる気がします。だから、私の良さをギターに引き出してもらって、私もLJ36 AREの良さを引き出せるようにもっと練習して、お互いのことを知りながら上手になりたいと思います。



▲LJのミディアムジャンボボディは、座って演奏する際に快適なフィット感が得られるようデザインされた形状。幅広いダイナミックレンジを備え、リードからバックングまで幅広く対応する。

PROFILE せがわあやか / 92年生まれ北海道出身。11年、看護師を目指し上京。15年の国家試験合格後、看護師をしながらアコギとキーボードでの弾き語りライブを行う。16年、シングル「夢日和」でメジャーデビュー。ライブ・イベント情報は公式サイトにて。
<https://aya-web.com>

LATEST SINGLE
リユネット
¥250 + 税
Pinky Nuts record
※配信限定
発売中

sumika 黒田隼之介 with LJ36 ARE

コードを弾いたときに6弦全部が鳴りアルペジオも響いてほしいところが豊かに鳴る



LJ36 AREを選んだ決め手は、ひと弾き惚れと言っていると思います。自分の体まで一緒に鳴っているんじゃないかと思うくらい良く鳴るギターだったので、素晴らしいなあと感動しました。コードを弾いたときに6弦全部が鳴っている感じで、アルペジオを弾いたときも一番響いてほしいところが豊かに鳴ってくれます。

ライブでは、アンサンブルの中でも存在感のある音で鳴ってくれて、お互いの音がよく聴こえるようになりました。他の楽器の音としっかり分離していて、けどアコースティックギターらしい気持ちのいい部分はしっかり鳴っているので、アンサンブルが厚くなったように感じます。“いい音で鳴る”というのは、それだけでいつもの練習が何倍も楽しくなります。

演奏者に寄り添って、一緒にいい音を考えてくれるその丁寧さが、ヤマハギターが長くたくさんの人に愛されている理由なのだとは思っています。



▲ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用することで音の伝達と振動効率を上げ、熟成された味わい深い響きを獲得。ミディアムジャンボボディで、抜群のレスポンスを備えている。

LATEST SINGLE
ファンファーレ / 春夏秋冬
【初回生産限定盤】 ¥1,600 + 税
【通常盤】 ¥1,000 + 税
Sony Records
発売中

PROFILE スミカ / 13年結成。メンバーは、片岡健太 (Vo,Gt)、黒田隼之介 (Gt,Cho)、小川貴之 (Kb,Cho)、荒井智之 (Dr)。アコースティックバンド形態 sumika [compession] としても活動中。 <http://sumika.info>

吉田山田 吉田結威 with LJ26 ARE

ヤマハギターは真面目で真っ直ぐな音をする



LJ26 AREは14年から使用しています。キマグレンのISEKIさんに紹介してもらい、ヤマハの方々にも協力していただいて何本も弾き比べた末に決めた1本です。これまで自分が使用してきたギターの中では、もっともボディが小さいタイプだったので、パワーが足りないんじゃないかと最初は心配していましたが、全然そんなことはなく、アコースティックギター特有のふくよかな音の厚みが入っています。ヤマハギターの魅力は、真面目で真っ直ぐな音をするところです。

PROFILE よしだやまだ / 吉田結威 (Gt,Vo) と山田義孝 (Vo) からなる男性2人組アーティスト。09年10月、シングル「ガムシャランナー」でメジャーデビュー。13年12月に放送開始したNHKみんなのうた「日々」が話題を呼び、ロングセラーを記録。
<https://yoshiyamadada.com>

LATEST ALBUM
欲望
【スーパーデラックス盤】
¥11,112 + 税
【デラックス盤】
¥3,500 + 税
【ボーナストラック盤】
¥2,500 + 税
ポニーキャニオン
18年10月31日リリース



▲座った状態で演奏する際、快適なフィット感をもたすためにデザインされたLJボディ。LLよりやや小さめだが、存在感のある低音域からクリスピーな高音域まで幅広いダイナミックレンジを出力。

MY FIRST STORY Teru with LJ26 ARE

弾いたときの鳴りはもちろんラインで出力したときのサウンドに温かみがある



試奏しに行ったとき、弾いてみてビビッとした。気に入ってる点は、普通に弾いたときの鳴りはもちろん、ラインで出力したときのサウンドに温かみがあるところ。値段以上のクオリティですね。ぜひ一度弾いてみてください。

PROFILE マイ・ファースト・ストーリー / 11年結成。メンバーは、Hiro (Vo)、Teru (Gt)、Nob (Ba)、Kid'z (Dr)。12年、アルバム「MY FIRST STORY」でデビュー。
<http://myfirststory.net/home>

LATEST ALBUM
S・S・S
【初回盤】 ¥3,241 + 税
【通常盤】 ¥2,315 + 税
INTACT RECORDS
18年10月17日リリース



▲長年弾き込まれたような豊かな鳴りを実現する、ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用。ネックは5層構造で強度と美しさを兼ね備えている。

SUPER BEAVER 渋谷龍太 with LJ26 ARE



歌に寄り添ってくれる 素敵なギターです

このギターとのお付き合いは、約3年になるのですが、すぐに馴染んでくれました。音のキレがとても良く、深い部分はとてもふくよかに響いてくれます。歌に寄り添ってくれるギターは多いですが、このギターは歌に寄り添ってくれる素敵なギターです。

ヤマハギターの魅力は、ブランド力とか、安心感とか。そういうことじゃないのかもしれないけど、それを裏切らないところが魅力だと思います。名前が先行しないこと、実力と音がまず先行していること、そこが魅力的です。



▲ミディアムジャンボボディで、ボディトップには長年弾き込まれたような豊かな鳴りを実現する、ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用。熟成された温かみのある音色が魅力だ。

PROFILE スーパー・ビーバー / 05年結成。メンバーは渋谷龍太 (Vo)、柳沢亮太 (Gt)、上杉研太 (Ba)、藤原“29才”広明 (Dr)。胸をわしづかみにする歌とメロディを持つ唯一無二の4人組ロックバンド。 <http://super-beaver.com>

LATEST ALBUM
歓声前夜
【初回限定生産盤 (CD + LIVE CD)】
¥3,300 + 税
【通常盤】 ¥2,750 + 税
【NOID】 / murffin discs
発売中

ちさ with LJ26 ARE

弾いた瞬間に低音がジャーン!って
鳴ってくれたので“絶対にこれだ”って



初めてのヤマハギターは、15年末に手に入れたこのLJ26 ARE。何本か試奏した中で形がかわいくて、生音が自分好みだったんです。低音が鳴るギターが好きで、弾いた瞬間にジャーンって鳴ってくれたので“絶対にこれだ!”って。ラインを通して弾いたんですけど、ちゃんと生音の良さが残っていて、それもいいなって思ったポイントでした。自分好みの生音が、そのままポーって響いている感じ。

あとはEQがついているので、バンドでやったときもハイを上げてアコギの音をもっと前に出したり、ハイが痛いときはローを多めにしたり、バンドサウンドと混ぜる音を手元で作れちゃうのもいいなって思います。

このギターは、私の中では女の子ですね。見た瞬間から“ひょうたんさん”って呼んでいます(笑)。芯のある強い音がするので、女の子の力強さみたいなものを感じます。使い始めたばかりだけど、これから私と一緒に前に出てキラキラさせてあげたいな。どんどんいい音になっていくと思うから、これから楽しみです。



▲ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用することで音の伝達と振動効率を上げ、熟成された味わい深い響きを獲得。ミディアムジャンボボディで、抜群のレスポンスを備えている。

LATEST ALBUM
Magic Shower
¥4,630 + 税
PRIMAGIC ROOMS
発売中

PROFILE ちさ / シンガーソングライターとして活動してきた“千佐真里奈”を中心に、多彩なミュージシャン＆クリエイターで構成されたソロユニット。 <https://www.chisamusic.com>

植田真梨恵 with LJ26 ARE

安定感があって信頼できるギター
長い付き合いになりそうな予感がします



使い始めたのは15年7月頃で、何本か試奏して選んだんですけど、手に取ったときにすごく気が合うなと思いました。私はジャカジャカかき鳴らして弾くタイプなので、中には“ごめんね”って思うギターもあるんですけど(笑)、これは大丈夫な気がしたというか。スピーカーで鳴らしたときも、本当に生音のような音が鳴ります。がっつり弾き込んだときも小さい音で弾いたときも、バランスが取れていて安定感があります。

ヤマハのギターは、音の輪郭がはっきりして、まるで仕立てのいい服をきっちり着ている気分になります。この子は、安定感があるから信頼できるギターなんだろうなって。長い付き合いになりそうな予感がしています。



▲トップはA.R.E.を施したイングリッシュブルース単板、サイド&バックはローズウッド単板を採用。オープンギアタイプのペグなど、ヴィンテージフルバード落ち着きのある溢れるデザインもLJ26 AREの魅力だ。

PROFILE うえだまりえ / 90年生まれ、福岡県久留米市出身のシンガーソングライター。14年にシングル「彼に守ってほしい10のこと」でメジャーデビュー。18年9～11月に開催の「植田真梨恵 たったひとりのワンマンライブ vol.3 “good-bye stereotype”」の情報は公式サイトにて。 <http://uedamarie.com>

LATEST SINGLE
勿忘にちづけ
【初回限定盤】 ¥1,852 + 税
【通常盤】 ¥1,200 + 税
Giza studio
発売中

感動を・ともに・創る

響きの革命。 ヤマハ トランスアコースティック™ギター

LL-TA (VT)

FS-TA (RR)

LL-TA / LS-TA
¥150,000 (税抜) ライトケース付 A・R・E
ピンテージテント(VT) / ブラウンサンバースト(BS)

FG-TA / FS-TA
¥80,000 (税抜)
ピンテージテント(VT) / ブラウンサンバースト(BS)
ブラック(BL) ※FG-TAのみ / ルビーレッド(RR) ※FS-TAのみ

*A.R.E. (Acoustic Resonance Enhancement):
短期間で木材を熟成させ、長年使い込まれた楽器のような鳴りを生み出す画期的な木材改質技術

TransAcoustic™
トランスアコースティック™

弦振動をピックアップしてリバーブやコーラスをかけ、アクチュエーター(加振器)でギター本体を振動させることで、アンプなどを使用することなく生音とともに、エフェクト音を再生する革新的な技術です。

アクチュエーター

●ヤマハギターサイト <https://jp.yamaha.com/guitar/>

株式会社ヤマハミュージックジャパン

スモールボディ

LS series

FG-1500 や FS シリーズの伝統を受け継ぐボディスタイルで、
胴厚は 100 ~ 120mm。スモールサイズながら十分な音量を誇る。
サウンドバランスに優れ、フィンガーピッキングを多用するギタリストにも最適。

LS56 Custom ARE

希望小売価格：500,000 円 (税抜)
※受注生産品・日本製

▶ 厳選された最高級の木材と熟練のクラフトマンの技術が生きて、LS シリーズの最上位機種。その音色と細部にまでこだわった外観は、まさに芸術作品。表板は A.R.E. を施したイングルマンズブルース単板、裏板・側板はインドローズ単板を採用。

LS36 ARE

希望小売価格：360,000 円 (税抜)
※日本製

▶ クラフトマンが長年培った技術と経験を元に、広いダイナミックレンジと絶妙な音量バランスを実現。手細工によるインレイや極薄のラッカー塗装など、LS シリーズのコンセプトである“ラグジュアリー (豪華)”というキーワードを明確に表現している。表板は A.R.E. を施したイングルマンズブルース単板、裏板・側板はインドローズ単板を採用。

LS26 ARE

希望小売価格：290,000 円 (税抜)
※日本製

▶ 開放的で成熟したサウンドと、抜群のレスポンスを備えたモデル。オープンギアタイプのペグなど、落ち着いたあるヴィンテージフレイバー溢れるデザインも魅力となっている。表板は A.R.E. を施したイングルマンズブルース単板、裏板・側板はローズウッド単板を採用。

LS16 ARE

希望小売価格：100,000 円 (税抜)

▶ 新たにデザインされたプレイングと A.R.E. 処理により、豊かで温かみのあるサウンドと開放的な響きを実現。ハッシュタイプのピックアップを搭載している。カラーは、ナチュラルとブラウンサンバースト。

LS16M ARE

希望小売価格：95,000 円 (税抜)
※ Lisland プラチナディーラー限定モデル

▶ LS16 ARE のマホガニーモデル。表板は厳選されたイングルマンズブルース単板で、側板・裏板に高品質のマホガニー単板を採用。クリアで温かみのあるサウンドを実現している。ハッシュタイプピックアップ搭載。

LS6 ARE

希望小売価格：60,000 円 (税抜)

▶ 改良されたプレイングデザインにより、優れた音量バランスを保ちながら、より力強く大きな音量を実現。ハッシュタイプのピックアップを搭載している。カラーは、ナチュラルとブラウンサンバースト。

Ka-Na(植村花菜) with LS36 ARE

アルペジオでもストロークでも
どちらもいい音色で演奏できます



初めて買ったギターもヤマハでした。このギターを使い始めたのは 15 年 6 月頃からですが、音のバランスが良く、アルペジオでもストロークでもいい音色で演奏できるところが気に入っています。ボディにシェルの装飾が施されるところも好きです♪

EQ のツマミがボディに (プッシュで) 収納されるところも、画期的で驚きました!!!

ヤマハのアコギは、安価なものから高級なものまで、幅広く種類があって、プロでもアマでもみんなが手に取れるところがいいですね。ギター本体の EQ で、音のバランスをいろいろと試せるところもいいと思います。

PROFILE カナ / 05 年 5 月、シングル「大切な人」でメジャーデビュー。10 年 3 月にリリースしたミニアルバム「わたしのかけらたち」に収録された「トイレの神様」が反響を呼び、ロングヒットを記録。 <http://ka-na.us/ja/home>



LATEST ALBUM
愛のかたち
¥2,200 + 税
KING RECORDS
発売中



▲スモールボディを採用。ネックはマホガニー+ローズウッドの 5 層構造で、高い演奏性を実現する新ネック形状を採用。ボディのバインディングには、高級感溢れるアバロンインレイを採用している。

SCANDAL HARUNA with LS36 ARE

バンドサウンドの中でも音が抜ける
弾き心地は過去最高です!



シングル「Sisters」の MV 撮影のあと、ライブで演奏するにあたって、もっとクリアに聴こえて、もっと手に馴染む弾きやすいアコギが欲しいなと思って探していたんです。弾き心地は過去最高です! これまでアコギをそんなに弾かなかったので、ストロークのときに右手が疲れていたんですけど、LS36 ARE は全然疲れない! 高音域の成分が強いのので、バンドサウンドの中でも音が抜けて主張してくれます。

ヤマハギターの魅力は、すごく初心者に向いているところだと思います。私は今までアコギをあまり弾いてこなかったけど、これからいっぱい弾いていこうと思っているので、鳴らしやすいのは本当にいいと思います。



LATEST ALBUM
HONEY
【完全生産限定盤 (CD + T シャツ)】 ¥5,278 + 税
【初回生産限定盤 (CD + DVD)】 ¥3,426 + 税
【通常盤】 ¥2,963 + 税
EPIC Records Japan
発売中

PROFILE スキャンダル / 06 年、大阪にて結成。メンバーは HARUNA (Vo, Gt), MAMI (Gt, Vo), TOMOMI (Ba, Vo), RINA (Dr, Vo)。08 年、シングル「DOLL」でデビュー。12 年、異例の早さで日本武道館公演を開催。16 年 8 月に結成 10 周年を迎え、結成地である大阪にて 1 万人を動員した野外コンサートを開催。 <http://www.scandal-4.com>



▲ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用することで音の伝達と振動効率を上げ、熟成された味わい深い響きを獲得。ペグはゴールドの SG301 で、塗装にはボディの響きを最大限に発揮する極薄のラッカーフィニッシュを採用。

chay with LS36 ARE

ここまでシャリンとした音のギターは初めて
早くライブの仲間入りをさせたいな



私はフィンガーピッキングで弾きながら歌うことが多いので、指弾きはもちろんピック弾きでも広がりのある音や響きができるギターを選んでます。すっきりとしてシャリンとした音が好きなんですけど、LS36 ARE もまさにその音なので私好みです。LS36 ARE、LL36 ARE、LJ36 ARE っていうボディサイズの異なる3モデルを弾き比べたんですけど、手がものすごく小さい私にとってLS36 ARE が一番弾きやすく手にフィットしたのと、見た目も含めて立って弾いたときのバランスが良かったので選びました。あとは、寒暖差がある過酷な環境でライブをすることが多いので、耐久性の高さも決め手のひとつでした。ここまでシャリンとした音のギターは初めてで、今までとは違う音で聴かせられそうだなと思っているので、早くライブの仲間入りをさせたいなと思っています。

PROFILE チャイ / 12年、メジャーデビュー。13年、フジテレビ系「テラスハウス」に出演し話題に。15年、6枚目のシングル「あなたに恋をしてみました」が50万ダウンロードを突破するなど大ヒット！ 14年より雑誌「CanCam」専属モデルとなり多方面で活躍。 <http://chay.jp>



LATEST ALBUM
chayTEA
【通常盤】 ¥3,000 + 税
【初回生産限定盤】 ¥3,500 + 税
ワーナーミュージック・ジャパン
発売中



▲オリジナルのsmallボディで、ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用することで音の伝達と振動効率を上げ、熟成された味わい深い響きを獲得。ネックは高い演奏性を実現する新形状を採用している。

石崎ひゅーい with LS26 ARE

生音ももちろん良いのですがラインで
出した音に安定感があり綺麗に抜けます



LS26 ARE を使い始めたのは、昔から家でヤマハのアコギを弾いていて馴染みがあったということ、ミュージシャンの間でもLSシリーズが良いという話をよくしていたからです。生音ももちろん良いのですが、ラインで出した音に安定感があり、綺麗に抜ける感じが良いと思えました。とにかく弾きやすいので、安心してライブをすることが出来ます。あと、どんなライブ環境でも出音が安定しています。

アコースティックギターに求めるものは、ライブでの使いやすさと木の鳴り、そのバランスが良いことです。ヤマハギターはすごく丈夫ですね。長い歴史があるということ、その安心感が音にも弾き心地にも表れていると思います。



LATEST ALBUM
Huwie Best
¥2,685 + 税
EPIC Records Japan
発売中

PROFILE いしざきひゅーい / 茨城県水戸市出身。本名。12年にミニアルバム「第三惑星交響曲」でデビュー。(石崎ひゅーい 弾き語りワンマン TOUR 2018「アンコール」および「石崎ひゅーい アンコールツアー」バンドファイナル)の詳細は公式サイトにて。
<http://www.ishizakihuwie.com>



▲石崎が5年半ほど愛用している機種。オリジナルのsmallボディにより小ぶりながら十分な音量を誇る。さらに、ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用することで音の伝達と振動効率を上げ、熟成された味わい深い響きを獲得。

Amelie mick with LS26 ARE

小さめなボディなのに奥深い響きで
温かい音色が鳴る

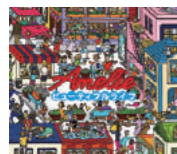


使用歴は3年くらいなのですが、最初に触った瞬間から、直感で気に入りました。小さめのボディなのに奥深い響きで、ふくよかで温かい音色が鳴るところも、ウィンテージっぽい見た目も超タイプです。ヤマハギターの魅力は、手に馴染み、とても弾きやすいところだと思います。そして、ずっと連れ添っていきたくするような、愛着の湧くキャラクターを持っています。



▲ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用することで音の伝達と振動効率を上げ、熟成された味わい深い響きを獲得。オープンギアタイプのペグなど、ウィンテージライクな外観も見逃せない。

PROFILE アメリ / 紅一点の mick を中心に11年結成。メンバーは、mick (Vo, Gt, Piano)、あっきー (Ba, Cho)、直人 (Gt, Cho)、アサケン (Dr, Cho)。15年12月に1stアルバム「グッバイ&ハロー」をリリース。
<http://www.amelie-web.com>



LATEST ALBUM
ビューティフルライブ
¥2,500 + 税
[NOID] / murfin discs
発売中

内田珠鈴 with LS16 ARE

使っていくうちに、自分の体に馴染んでくる
最初的一本として選んですごく良かったです



LS16 ARE は音楽活動を始めた約1年前から使っています。初めてのアコギです。事務所の先輩の井上苑子さんが使っているのを見て、私も最初はヤマハにしようと思いました。これも苑子さんに一緒に選んでもらったんです。体が小さいので、最初は小さめのギターが演奏しやすくっていいんじゃないかって。苑子さんに何か弾いてもらって、自分でも試してみ、一番握りやすく弾きやすそうだなと思ってこのモデルにしました。音が澄んでいるところが好きですし、本体でボリュームとかも調整できるので、最初的一本として選んですごく良かったなと思っています。それに、ライブで何回も使っていくうちに、自分の体に馴染んでくるなって印象もあって。音量がけっこう出るんで、バンドの中でも存在感があります。楽器と言えばヤマハというイメージがあったので、初心者としてすごく入りやすかったです。いろんなプロの方が使っているの、初心者でも選びやすいブランドだと思います。



LATEST SINGLE
「青の季節」
【初回盤】 ¥1,667 + 税
【通常盤】 ¥926 + 税
つばさレコーズ
発売中

PROFILE うちだしゅり / 01年生まれ、福岡県出身。ファッション雑誌「JSガール」の専属モデルとしても人気を集め、17年4月よりアーティスト活動をスタート。12 / 21 (金) 渋谷 duo MUSIC EXCHANGEにて4thワンマン開催決定!
<http://www.uchida-shuri.com>



▲LSのsmallボディは、FG-1500やFSシリーズの伝統を受け継いだもの。サウンドバランスに優れ、フィンガーピッキングを多用するギタリストやバンド編成での使用にも向いている。

エレクトリックアコースティックギター

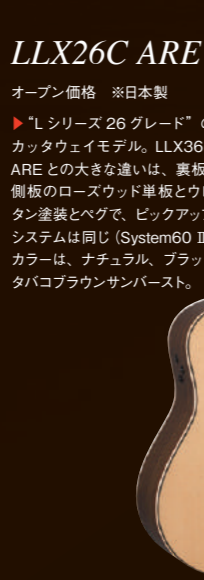
LX series

A.R.T. はコンタクトピックアップを使用し、“リアルアコースティックサウンド”を出力するシステム。LXシリーズは、メインピックアップと2つのサブピックアップを配置した3ウェイのSystem60 IIを採用。



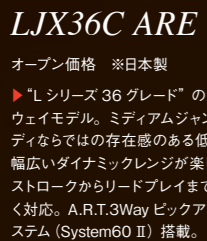
LLX36C ARE

オープン価格 ※日本製
 ◀クラフトマンが長年培った技術と経験を元に製作されている“Lシリーズ 36 グレード”のカッタウェイモデル。フルサイズのオリジナルジャンボボディが生み出す、広いダイナミックレンジと音量バランスが魅力。A.R.T.3Way ピックアップシステム (System60 II) の搭載により、ギター本体の豊かな調音を余すところなく再現。



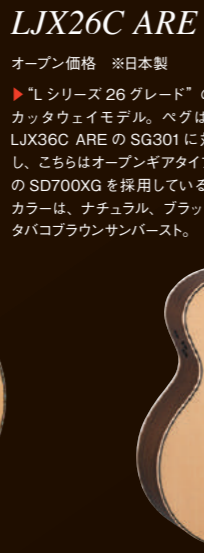
LLX26C ARE

オープン価格 ※日本製
 ▶“Lシリーズ 26 グレード”のカッタウェイモデル。LLX36C ARE との大きな違いは、裏板・側板のローズウッド単板とウレタン塗装とベグで、ピックアップシステムは同じ (System60 II)。カラーは、ナチュラル、ブラック、タバコブラウンサンバースト。



LJX36C ARE

オープン価格 ※日本製
 ▶“Lシリーズ 36 グレード”のカッタウェイモデル。ミディアムジャンボボディならではの存在感のある低音と、幅広いダイナミックレンジが楽しめる。ストロークからリードプレイまで幅広く対応。A.R.T.3Way ピックアップシステム (System60 II) 搭載。



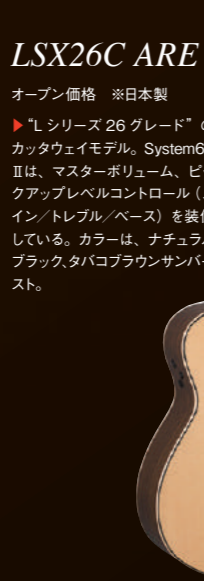
LJX26C ARE

オープン価格 ※日本製
 ▶“Lシリーズ 26 グレード”のカッタウェイモデル。ベグは、LJX36C ARE の SG301 に対し、こちらはオープンギアタイプの SD700XG を採用している。カラーは、ナチュラル、ブラック、タバコブラウンサンバースト。



LSX36C ARE

オープン価格 ※日本製
 ◀“Lシリーズ 36 グレード”のカッタウェイモデル。サウンドバランスに優れたスモールボディを採用。フィンガーピックアップを多用するギタリストにも最適な粒立ちの良いサウンドを実現している。A.R.T.3Way ピックアップシステム (System60 II) 搭載。



LSX26C ARE

オープン価格 ※日本製
 ▶“Lシリーズ 26 グレード”のカッタウェイモデル。System60 II は、マスターボリューム、ピックアップレベルコントロール (メイン/トレブル/ベース) を装備している。カラーは、ナチュラル、ブラック、タバコブラウンサンバースト。



ex.UNIST GAKU with LLX36C ARE TAMA with LLX16

指弾きもコード弾きもパーカッシブなプレイもバランスの良い音が出ます



GAKU LLX36C ARE は 14 年 6 月から使っています。まとまりのある音で、指弾きもコード弾きもパーカッシブなプレイも、バランスの良い音が出ます。オールジャンルで使えますね。

TAMA これよりもグレードの高い LLX36C ARE も使っていて、この LLX16 は最近使い始めました。アコギって同じモデルでもギターによって音が違うけど、これはすごく“当たり”で。弾き語りのときも、上 (高音) から下 (低音) までしっかり出るので、歌っているときもまったく不安がないです。

PROFILE ユニスト / GAKU (Vo,Gt)、TAMA (Vo,Gt)、ZEN (Vo,Gt) からなる 3 人組シンガーソングライターユニット。12 年、シングル「無限フライト」でメジャーデビュー。16 年の赤坂ブリッツワンマンをもって解散。



LATEST ALBUM Acoustic
 【初回生産限定盤】 ¥3,056 + 税
 【通常盤】 ¥2,778 + 税
 エイペックス 発売中

LLX36C ARE



LLX16



▲豊かな音量を生むオリジナルジャンボボディ。ハイポジションからローポジションまで、安定したグリップ感と滑らかな演奏性を提供する新しいネック形状を採用 (構造は強度の高い 5 層)。塗装は極薄のラッカー。旧仕様。
 ▲A.R.T.3ウェイピックアップシステム (SYSTEM-60) を搭載。中音域を拾うメインピックアップとトレブル/ベースのサブピックアップから構成されており、独立して調整できる。生産完了品。

seven oops

KEITA with LLX36C ARE

鳴らしたときの響き良かったんです
 僕は手が小さいけど弾きやすさも断然いい



もともと、カッタウェイのギターが欲しいなと思っていて。いくつかヤマハのアコギを試奏した中で、音の感触とネックのフィット感が一番合うものを選びました。Aadd9 コードが好きなんですけど、それを鳴らしたときの響き良かったんです。僕は手が小さいんですけど、ヤマハのギターは弾きやすさも断然いいですね。

PROFILE セブンアップス / 04 年、NANAE (Vo)、MAIKO (Dr)、KEITA (Ba)、MICHIRU (Gt) の 4 人で沖繩にて結成。11 年、シングル「フォーリン・ラブ」でメジャーデビュー。17 年末に MICHIRU が脱退し、18 年よりバンド名表記を“seven oops”と改め 3 ピースバンドとして活動。 <http://7oops.com>



LATEST ALBUM songs for...
 【初回限定盤】 ¥3,611 + 税
 【通常盤】 ¥3,000 + 税
 徳間ジャパン 18 年 11 月 7 日リリース



▲経年変化と同様の变化を短期間で生み出す木材改質技術「A.R.E.」を採用。ピックアップシステムはシステム 60 で、ブリッジ付近に仕込まれた 3 つのピックアップによって緻密な音作りが可能。旧仕様。

KEYTALK

小野武正 with LLX36C ARE

弾き心地とサウンド
どちらも求めていた理想に近くて最高です!



アコースティックギターは素直なサウンドのものが好きです。LLX36C ARE は使い始めて1年くらいなんですけど、試奏したときにビビビッときたので選びました。弾き心地とサウンド、どちらも求めていた理想に近くて最高です。ローとハイの出具合も絶妙で、6弦から1弦までパッチリ鳴ってくれます!

このきらびやかなサウンドはバンドに埋もれることなく最高の存在感を出してくれると思います。ヤマハギターは、自分の鳴らしたい音が素直に出てくれるところが魅力だと思います!



▲職人が長年培った技術と経験が息づく「36グレード」のカッタウェイモデル。幅広いダイナミックレンジと優れた音量バランスが魅力。A.R.T.3 ウェイピックアップシステム (システム 60II) を搭載。

PROFILE キートーク/09年結成。メンバーは寺中友将 (Vo.Gt)、首藤義勝 (Vo.Ba)、小野武正 (Gt.MC.Cho)、八木優樹 (Dr.Cho)。10年3月、デビューシングル「KTEP」をリリース。13年、シングル「コースター」でメジャーデビュー。学園祭ツアーをはじめ、ライブ情報は公式サイトにて。 <http://keytalkweb.com>

LATEST ITEM

幕張メッセ ワンマンライブ
ド真ん中で頑張マッセ ~ shall we dance? ~

【完全生産限定盤 (Blu-ray)】 ¥7,500 +税 【通常盤 (Blu-ray)】 ¥5,000 +税
【完全生産限定盤 (DVD)】 ¥6,500 +税 【通常盤 (DVD)】 ¥4,000 +税
Getting Better / ビクターエンタテインメント 18年12月19日リリース

Now Printing

ほのかりん with LLX36C ARE

弾き心地も良かったし
音を鳴らした瞬間にこれだなって思ったんです



私が好きなアコースティックギターの音色は、素直な色を感じさせる音色。ちょっと“酸っぱい”印象の音はあまり好みじゃなくて。感覚的な表現なんですけど(笑)。LLX36C ARE は酸っぱくなくて、コーヒーにミルクを混ぜたようなマイルドな音色。4本くらい試してみても LLX36C ARE に決めたいんですけど、まずはボディの形状が好きだったのと、ネック裏のサラサラとした塗装の手触りがすごく良くて。弾き心地も良かったし、音を鳴らした瞬間にこれだなって思ったんです。今まで使っていたアコギは借り物だったので、初めて自分のアコギを持てたからすごく楽しみ。ライブで使うのも楽しみですけど、家で曲作りするときにも使いたいですね。アコギって見た目も音もそうだけど温かい感じがするので、私のホームのような存在でいてくれたらいいですね。



▲ヤマハが独自に研究・開発した木材改質技術「A.R.E.」を採用。ピックアップ&プリアンプはシステム60 IIで、ブリッジ付近に仕込まれた3つのピックアップによって緻密な音作りが可能となっている。

PROFILE ほのかりん/96年生まれ。モデル、女優として活動中、13年にガールズバンド「コムシコムサ」にギタリストとして参加。その後ソロとして活動をスタートさせ、17年、オーディション《ミスID2018》でミスID2018を受賞。同年9月、デジタルシングル「メロンソーダ」でソロデビューを果たす。 <http://lynnonhoka.com>

LATEST ALBUM
LOVE ME TENDER

¥2,222 +税
フォーライフミュージック
エンタテインメント
発売中



イトヲカシ

宮田“レフティ”リョウ with LLX26 ARE

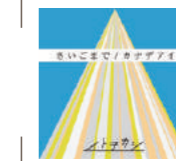
A.R.T.ピックアップシステムは
マイク録りした音に
限りなく近い。最高です!



使用歴は3年くらい。LLX26 ARE を選んだ理由は、他のモデルと比べて箱鳴り感があり、生音が好みだったから。とにかく A.R.T.ピックアップシステム (システム 60) がすごい! ピエゾで音を拾ったときの“ガツカリ感”は一切なく、マイク録りした音に限りなく近い。最高です! ライブでの使い心地も、サウンドは言わずもがなですが、その上ハウリングにも強いので非常にライブに強いモデルだなと思います。

ヤマハギターの魅力は、国産の安定感と安心感。他にはないピックアップシステムや、ネック、ボディの機構など、常にイノベーションを生み出し続けているところだと思います。

PROFILE イトヲカシ/伊東歌詞太郎 (Vo) と宮田“レフティ”リョウ (Ba.Gt.Kb) による2人組ユニット。12年結成。さまざまなアーティストへの楽曲提供やプロデュースワークを行い、動画サイトに投稿した楽曲の動画総再生数は2500万を超える。 <http://itowokashi.jp>



LATEST ALBUM
さいごまで
カナデアイ

[DVD付] ¥1,574 +税
[CDのみ] ¥926 +税
エイベックス
発売中



▲A.R.T.3 ウェイピックアップシステムは、ボディトップ裏のコンタクトピックアップとベース用/トレブル用の2つのサブピックアップの組み合わせにより、箱鳴り感や倍音成分までもコントロール可能。

ダイスケ with LLX26C ARE

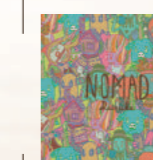
ラジオで弾き語りするときにも
重宝しています



14年の夏から使い始めました。国産のギターは1本も持っていなかったんで、興味があって。このモデルは、小さいのにめちゃくちゃ生音が鳴るんですね。それまでヤマハのギターを触ったことがなかったから、わりと大人しいギターなのかなって勝手な先入観があったんですけど。でも、荒々しいゴツさもあれば繊細さもあって、むしろ一番バランスが良いかなって思っているくらいです。

《音霊 OTODAMA SEA STUDIO 2014》で初めて使ったんですけど、どんな曲にも合う気がして。バンドの中でもちゃんとアコギの音が聴こえてくるので、ステージに立っているときも、モニターからちゃんと音が出てくれるのが弾きやすいです。生音も好きで、ラジオでマイクを立てて弾き語りをするときにも重宝していますね。

PROFILE ダイスケ/88年、神奈川県出身。日本テレビ系「ZIP!」内コーナー「ZIP! スマイルキャラバン」にレギュラー出演をし日本中を旅して廻る。11年、シングル「ボク☆ロケット」でメジャーデビュー。 <http://www.daisuke-music.com>



LATEST ALBUM
NOMAD

【初回生産限定盤】
¥3,241 +税
【通常盤】 ¥2,315 +税
EPIC Records Japan
18年10月17日リリース



▲ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用。ノンスクラップド X プレーシング、高い演奏性を実現する新しいネック形状など、音色や演奏性にこだわり尽くしたスペックを装備。オープンギアタイプのペグなど、ヴィンテージテイスト溢れる外観も魅力だ。

大森靖子 with LLX26C ARE

自分の持っているギターの中ではかなり優等生な感じですよ



音の粒がキレイに鳴るものよりも、ギター個体の波動が鳴るアコースティックギターがいいです。奏法に対応できるかどうかよりも、歌に呼応できるフィジカルがあるかどうかのほうが重要で、自分はボーカルのハイがうるさいので、そのへんの音域があまりギラギラ鳴る必要はないんです。LLX26C AREを選んだ理由は、ヤマハの中でもかなり鳴るといふことと、自分に似合うという点です。あとは内蔵ピックアップが気に入っています。メインピックアップとトレブル/ベースのサブピックアップの計3つが、ブリッジ下に仕込まれていて調整できるという。ライブではバカ鳴りせずにハウリングも起きにくいので、バンドと合わせるときに使用しています。自分の持っているギターの中では、かなり優等生な感じですよ。ヤマハギターの魅力は、ちゃんとしているところ。押さえるところは押さえている、基礎力のアペレージの高さですね。



▲ヤマハが独自に研究・開発した木材改質技術「A.R.E.」を採用。ピックアップシステムはシステム60IIで、ブリッジ付近に仕込まれた3つのピックアップによって緻密な音作りが可能となっている。カラーはブラック。



LATEST ALBUM クソカワ PARTY

【2CD + DVD】 ¥3,800 + 税
【CD + Blu-ray】 ¥5,800 + 税
【CD only (フラッシュドライブ版)】 ¥2,000 + 税
【CD + シリアルコード (ファンクラブ盤)】 ¥7,777 + 税
エイベックス 発売中

PROFILE おおもりせいこ/愛媛県出身。美大在学中に音楽活動を開始。弾き語りライブが話題となる。14年にエイベックスよりメジャーデビュー。圧倒的なパフォーマンスや現代風俗を捉えた詞世界で注目を集める。ロックフェスからアイドルフェスまで垣根なく出演できる唯一無二のミュージシャン。 <http://oomoriseiko.info>

MONKEY MAJIK ブレイズ with LJX26 CP

ヤマハギターはナチュラルな“木”の音が生きている



レコーディング時にもよく使用していますが、ヤマハのギターは、とてもナチュラルな“木”の音が生きているように感じます。MONKEY MAJIKの音楽は、オーガニックなサウンドを大切にしているので、それにとってもマッチしていますね。音の立ち上がりもいいことも魅力です。



▲まるでマイク録音したかのような、空気感溢れるサウンドが得られる新開発ピックアップシステム「SRT」を搭載。ハウリングの原因となる周波数を抑える「A.F.R.」も内蔵している。



LATEST SINGLE ウマーベラス

¥926 + 税
エイベックス 発売中

PROFILE モンキーマジック/カナダ人の兄弟であるメイナード (Vo.Gt) とブレイズ (Vo.Gt)、日本人のDICK (Ba) とTAX (Dr) による仙台在住の4ピースバンド。06年、1st シングル「fly」をリリース。2nd シングルの「Around The World」がフジテレビ系ドラマ「西遊記」の主題歌として爆発的なヒットを記録。 <http://www.monkeymajik.com>

田中彬博 with LJX56C ARE AT

職人技を随所に体感できるギター 年々馴染んで、音が良くなりました



今まで弾いてきたギターの中でも、このLJは一番長く弾き込んでいるギターです。個人的に、Lシリーズの持つ生音の“倍音感”が大変気に入っています。弾きやすさに直結するネックの握り具合、カッタウェイのしなやかなシェイプなど、演奏している間にも職人技を随所に体感できます。使用して4年経ちますが、年々じっくり馴染んできて、どんどん音が良くなりました。環境に左右されない安定感があり、海外のステージで演奏するときにも心強いです。ピックアップを通したときのボリューム感もヤマハらしく好きですね。

アコースティックギターに求めるものは、低音から高音までバランス良く鳴ってくれること、表現の自由度を広げてくれること、そしてひとつひとつ大切に作られたギターであることです。アップテンポの曲からバラードまで、ジャンルを選ばずに演奏できるバランスの良さ、どのモデルにもある総合的なクオリティの高さはヤマハギターの大きな魅力だと感じています。



▲厳選された最高級の木材のみを使い、熟練のギタークラフトマンによって組み上げられたモデル。ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用することで音の伝達と振動効率を上げ、熟成された味わい深い響きを獲得。

田中彬博マンツーマンレッスン受講者募集中。ライブ情報など詳しくは公式サイトまで。 <http://tanakaakihiro.com>

PROFILE たなかあきひろ/86年生まれ、京都府出身。アメリカで開催される世界規模のギターコンテスト「International Fingerstyle Guitar Championship」にて日本人初、大会史上最年少でグランプリを獲得するなど、国内外で活躍する実力派ソロギタリスト。京都を拠点に活動し、表現力豊かなプレイで観客を魅了している。

KANA-BOON 古賀隼斗 with LSX26C ARE

LSX26C ARE はアコギ特有の空気感とか材質の音までも感じられる



LSX26C ARE を入手したのは17年の10月頃。3月に発売したカップリング集「KBB vol.1」にアコースティックアレンジの「さくらのうた」という曲が入っているんですけど、そのレコーディング用と、今後もライブで使えるようないいアコギが1本欲しいと思って購入しました。今までアコギを所有していなかったの、初めてアコギを買いました。バンドに混ざりやすいアコギを探していて、LSX26C ARE はアコギ特有の空気感とか材質の音までも感じられたので選んだんです。実際に1回だけアコースティックライブで使ったんですけど、ドラムのシンバル類(高音域)とあまり重ならない印象があって、アンサンブルとの混ざりがすごく良かったですね。

ヤマハのアコギは初めて使ったんですけど、弦を弾いたときのツヤ感があって、それが「さくらのうた」のフレーズを聴いても感じられたので、おしゃれだぞと(笑)。今後、ライブに制作に活躍するギターになると思います。



▲ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用することで音の伝達と振動効率を上げ、熟成された味わい深い響きを獲得。計3基のピックアップによって、箱鳴り感や倍音成分までもコントロール可能なA.R.T. 3ウェイピックアップシステムを搭載。



LATEST ALBUM KBB vol.2

【初回生産限定盤】
¥3,600 + 税
【通常盤】 ¥2,500 + 税
Ki/oon Music 発売中

PROFILE カナブーン/メンバーは谷口 輔 (Vo.Gt)、古賀隼斗 (Gt.Cho)、飯田 祐馬 (Ba.Cho)、小泉貴裕 (Dr)。13年、シングル「盛者必衰の理、お断り」でメジャーデビュー。18年10月～19年3月に開催の「KANA-BOONのGO!GO!5周年!シーズン4 ワンマンツアー「Let's go 55 ONE-MAAN!!!」」の日程は公式サイトにて! <http://www.kanaboone.com>

FG/FS series, A series, CPX series, APX series, etc.
その他のラインナップ

Other series

歴史と伝統を大切にしながら、先駆者としてもさまざまな製品を世に送り出してきたヤマハ。近年も、世界的に高く評価される新製品を精力的に発表している。そのサウンドや機能をぜひ、お店で実物を手に取って確かめてほしい。

FG/FS series

FG850

希望小売価格：50,000円(税抜)

▶表板にマホガニー単板、裏板・側板とボディバインディングにもマホガニーを採用。木の温もりが感じられる味わい深いデザインと、豊かな中音域が際立つサウンド特性が魅力となっている。

FG840

希望小売価格：50,000円(税抜)

▶表板にスプルース単板、裏板・側板に美しい木目が魅力のプレイムメイプルを採用。メイプル特有のクリアで歯切れのいいサウンドが特徴で、コードストロークの一言一音が明快に響く。

FG830

希望小売価格：42,000円(税抜)

▶表板にスプルース単板、裏板・側板にローズウッドを採用。明るく芯のあるサウンドと豊かなサステインで深い音色が楽しめる。カラーは、ナチュラル、タバコブラウンサンバースト、オータムバースト(写真)。

FG820-12

希望小売価格：42,000円(税抜)

◀FG820の12弦バージョン。表板にスプルース単板、裏板・側板にマホガニーを採用。新開発スキャロップドブレイジングによって、12弦ギターならではの響きがいよりの豊かなものになっている。

FG820L

希望小売価格：42,000円(税抜)

◀FG820のレフトハンドモデル。表板にスプルース単板、裏板・側板にマホガニーを採用している。新開発スキャロップドブレイジングによる、温かく力強いサウンドが魅力だ。

FG820

希望小売価格：37,000円(税抜)

◀ビギナー向けとしても人気の定番モデル。豊富なカラーバリエーションも魅力で、ナチュラル、オータムバースト、サンセットブルー(写真)、ブラック、ブラウンサンバーストがラインナップ。

FG800

希望小売価格：34,000円(税抜)

◀ヤマハフォークギターの原点とも言えるシンプルで伝統的なデザイン。そして高品質とお手頃価格を実現した、エントリーモデルの代表格。表板にスプルース単板、裏板・側板にナトー(またはオクメ)を採用。

FS850

希望小売価格：50,000円(税抜)

▶表板にマホガニー単板、裏板・側板とボディバインディングにマホガニーを採用。FGのトラッドウェスタンに対し、くびれの深いコンパクトなボディシェイプで圧倒的な弾きやすさを実現している。

FS830

希望小売価格：42,000円(税抜)

▶表板にスプルース単板、裏板・側板にローズウッドを採用。FSシリーズはコードストロークに加え、フィンガーピッキングにも最適。カラーは、ナチュラル、ダスクサンレッド(写真)、タバコブラウンサンバースト。

FS820

希望小売価格：37,000円(税抜)

▶FG820と並び、ビギナー向けとしても人気の定番モデル。表板にスプルース単板、裏板・側板にマホガニーを採用。カラーは、ナチュラル、ルビーレッド(写真)、ブラック、ターコイズ、オータムバースト。

FS800

希望小売価格：34,000円(税抜)

▶シンプルで伝統的なデザイン。高品質とお手頃価格を実現したエントリーモデルの代表格。新開発のスキャロップドブレイジングによって、レスポンスとの良さど力強いサウンドをバランスよく表現する。

A series

A5R ARE

希望小売価格：195,000円(税抜) ※日本製

◀Aシリーズの最上位機種。ウェスタンカッタウェイボディで、表板にA.R.E.処理が施されたシトカスプルース単板、裏板・側板にローズウッド単板を採用。

A5M ARE

希望小売価格：190,000円(税抜) ※日本製

◀こちらは裏板・側板にマホガニー単板を採用。"Made in Japan"ならではの高品質な仕上がりと、新開発スキャロップドブレイジングによる豊かな響き、快適な演奏性を実現するネックデザインも魅力となっている。

AC5R ARE

希望小売価格：195,000円(税抜) ※日本製

◀A5R AREのウェスタンカッタウェイボディに対し、こちらはフォークカッタウェイボディ。その他は同スペックで、表板にA.R.E.処理が施されたシトカスプルース単板、裏板・側板にローズウッド単板を採用。

AC5M ARE

希望小売価格：190,000円(税抜) ※日本製

◀同じくフォークカッタウェイボディで、こちらは裏板・側板にマホガニー単板を採用。以上の4機種は、すべてSRT2ピックアップシステム(System71)を搭載している。シンプルで独創的なデザインも魅力だ。

A3R ARE

希望小売価格：115,000円(税抜)

▶ウェスタンカッタウェイボディ。表板はA.R.E.処理が施されたシトカスプルース単板、裏板・側板はローズウッド単板。カラーは、ヴィンテージナチュラル、タバコブラウンサンバースト(写真)。

A3M ARE

希望小売価格：110,000円(税抜)

▶裏板・側板にマホガニー単板を採用。A3シリーズの4機種は、A5シリーズと同じSRT2ピックアップシステム(System71)を搭載している。カラーは、ヴィンテージナチュラル(写真)、タバコブラウンサンバースト。

AC3R ARE

希望小売価格：115,000円(税抜)

▶フォークカッタウェイボディ。スリムなため演奏性が高く、滑らかな中高音域とくっきりとした低音が特徴となっている。カラーは、ヴィンテージナチュラル、タバコブラウンサンバースト(写真)。

AC3M ARE

希望小売価格：110,000円(税抜)

▶裏板・側板にマホガニー単板を採用。低音から高音までバランスの良いローズウッドに対し、豊かな中音域と音の立ち上がりの速さが特徴。カラーは、ヴィンテージナチュラル(写真)、タバコブラウンサンバースト。

AIR

希望小売価格：67,000円(税抜)

◀伝統的なウェスタンカッタウェイボディで、表板にシトカスプルース単板、裏板・側板にローズウッドを採用。A1シリーズのカラーは4機種とも、ヴィンテージナチュラル(写真)、タバコブラウンサンバースト。

AIM

希望小売価格：64,000円(税抜)

◀裏板・側板にマホガニーを採用。A1シリーズ共通で、独自開発によるピエゾピックアップ(System72)を搭載。またAシリーズの特徴として、エレキギターとの持ち替えにも違和感のないネックデザインが挙げられる。

ACIR

希望小売価格：67,000円(税抜)

◀スリムなフォークカッタウェイボディで、表板にシトカスプルース単板、裏板・側板にローズウッドを採用。新開発のスキャロップドブレイジングによる豊かな響きも、Aシリーズ共通の魅力となっている。

ACIM

希望小売価格：64,000円(税抜)

◀裏板・側板にマホガニーを採用。ブレイジングの詳細は、表板が新デザインのスクヤロップドブレイジング、裏板は従来よりも短い1本のブレイジングがポイント。豊かで力強い中低音域と高い表現力を実現している。

トランスアコースティックギター

LL-TA

希望小売価格：150,000円(税抜)

▶アンプやエフェクターなどの外部機器を使うことなく、生音にコーラスやリバーブといったエフェクトがかけられる画期的なモデル。カラーは、ヴィンテージティント(写真)とブラウンサンバースト。[LS-TA]も同価格でラインナップ。

FG-TA

希望小売価格：80,000円(税抜)

▶ヤマハ伝統のトラッドウェスタンタイプボディのFG-TAが登場。フォークタイプボディの[FS-TA]も同価格でラインナップ。カラーは、ヴィンテージティント、ブラウンサンバースト(写真)、ブラック(FG-TAのみ)、ルビーレッド(FS-TAのみ)。

その他のラインナップ

■ APX series

APX1200II 希望小売価格：135,000円(税抜)
APX1000 希望小売価格：92,000円(税抜)
APX700II 希望小売価格：60,000円(税抜)
APX600 希望小売価格：43,000円(税抜)
APX700II -12 希望小売価格：68,000円(税抜)
APX700II L 希望小売価格：68,000円(税抜)
APXT2 希望小売価格：30,000円(税抜)

■ TransAcoustic series

LS-TA 希望小売価格：150,000円(税抜)
FS-TA 希望小売価格：80,000円(税抜)

■ CSF series

CSF3M 希望小売価格：75,000円(税抜)
CSF1M 希望小売価格：60,000円(税抜)

■ Travel / Mini

JR2 希望小売価格：18,000円(税抜)
JR2S 希望小売価格：22,000円(税抜)
GL1 希望小売価格：12,000円(税抜)
CS40J 希望小売価格：16,000円(税抜)

■ CPX series

CPX1200II 希望小売価格：135,000円(税抜)
CPX1000 希望小売価格：92,000円(税抜)
CPX700II 希望小売価格：60,000円(税抜)
CPX600 希望小売価格：43,000円(税抜)
CPX700II -12 希望小売価格：68,000円(税抜)

Czecho No Republic

タカハシマイ with APXT2

私が持っている
他のアコギよりも優しい音



もともとひとつ前の APXT1 を持っていて、それは、楽器屋さんに行って見た目がかわいかったから買いました(笑)。普通のアコギも持ってるんですけど、チェコの楽曲的にそこまでアコギを弾き鳴らさないし、私は鍵盤も弾くからギターを弾かないときは背中に回せるので。あとは、私が持っている他のアコギよりも優しい音っていう印象です。小さいのに音に深みがあって、メンバーにもよく弾いてもらってますけど、「本当にこのアコギはいい音だ」って褒められます。

PROFILE チェコ・ノー・リパブリック / 10年結成。メンバーは、タカハシマイ(Cho, Syn, Per)、武井優心(Vo, Ba)、砂川一黄(Gt)、山崎正太郎(Dr)。13年10月、メジャー1stアルバム『NEVERLAND』をリリースした。
<http://c-n-r.jp>



LATEST ALBUM
旅に出る準備
¥2,800 + 税
日本コロムビア
発売中



▲屋外でも気軽に楽しめるトラベラーギター。同社の APX をひと回り小さくしたサイズで、小型ながら独自のピックアップシステム「A.R.T.」を採用。ボディの鳴りを忠実にアンプへ出力する。

the peggies

北澤ゆうほ with FGX730SC

ヤマハギターの魅力は透明感と艶のある音
右手のニュアンスを
素直に表現してくれるのも嬉しい



FGX730SC の使用歴は 6 年半くらいです。もともと使っていたアコースティックギターが壊れてしまって、買い換えようと思って楽器屋さんに行ったところ一目惚れしました。生音の響きがいいので楽しんで弾くことができますし、ネックの太さもちょうどいいのでパレーコードを弾くときも何のストレスもなく弾くことができます。ピックアップ、チューナー付きなのもありがたいです!

プリアンプ部で細かい調節ができるので、ライブでもそのときの自分好みの音に調節できるのは便利です。温かく柔らかい音というよりは、繊細でシャキッとしている感じ。アルペジオはもちろん、ストロークで思いっきり弾いたりもするので、どちらにも対応してくれる音です。ヤマハギターは、透明感と艶のある音が一番の魅力。バランスの取れた音なので、右手のニュアンスを素直に表現してくれるのも嬉しいです。



▲ボディはトラッドウエスタンカッタウェイタイプで、1ウェイの A.R.T. ピックアップシステムを搭載。3バンド EQ に加え、チューナー、AMF コントロールを装備している。生産完了品。



LATEST SINGLE
君のせい
【期間生産限定盤(アニメ盤)】
¥1,389 + 税
【通常盤】 ¥972 + 税
Epic Records Japan
18年11月7日リリース

PROFILE ザ・ペギーズ / 中学校の同級生で結成された3ピースガールズバンド。メンバーは、北澤ゆうほ(Vo, Gt)、石渡マキコ(Ba)、大貫みく(Dr)。11月より the peggies ワンマンツアー 2018 ~君のせい~ で最終バス乗り過ごしたツアー~ を開催。 <http://thepeggies.jp>

セレイナ・アン with CPX15NA

ギターに込められたストーリーも素敵で
耳だけでなく目でも楽しませてくれる



CPX15NA は 13 年くらいから使っていて、デザインが他にはないかわいらしさで、音も最高だったから選びました。生音で使うことが多いですが、音のバランスが良く、クラシカルな一面を持ちつつもポップ感のある現代的な音色を奏でてくれます。ギターに込められたストーリーも素敵で、耳だけでなく目でも楽しませてくれるお気に入りのギターです。

優れた 2 ウェイピックアップシステムが使われていて、ピエゾとコンデンサーマイクで自由にサウンドをミックスできるので、ライブでの使い心地はとってもいいです。ナチュラルな音色が好みなので、私にぴったりだと思っています。

ヤマハギターの魅力は、日本生まれだということ! 自分の生まれた国で誕生したギターを使っているのは、何だか嬉しくなります。さまざまなデザインやカラーも特徴的で、また、何かあったときのカスタマーサービスも素早く対応していただけます。

PROFILE セレイナ・アン / 96 年生まれ。日本テレビ系「ZIP!」のおおぞらキャラバンに出演し話題を呼ぶ。15 年 11 月、ミニアルバム「We Are One」でデビュー。16 年 7 月にミニアルバム「SUNDAYS」でメジャーデビューを果たした。
<http://celeinaann.com>



LATEST ALBUM
Departures
¥3,149 + 税
ユニバーサル
発売中



▲98年、アコギならではの音色を忠実に出力するというコンセプトで誕生したコンパスシリーズ。北欧の美しい情景をイメージした「ノースバージョン」で、サウンドホールに太陽(白夜)、指板インレイにクジラの尾が描かれている。

L-island プラチナディーラー



「L アイランド プラチナ ディーラー」は、ヤマハアコースティックギターの魅力を存分に体験できる特別なショップです。L シリーズをはじめ、APX/CPX/A シリーズなど豊富なラインナップを取り揃え、気になるギターをじっくりお試しください。知識豊富なスタッフのアドバイスは、きっとあなたにぴったりの一本と出会う手がかりになるはず。L アイランドプラチナディーラー限定販売モデルの他、プロギタリストのコンサートやイベント等、情報の発信地でありアフターケアも安心のショップです。

【北海道・東北】

玉光堂すすきの楽器センター
タケダ楽器

【関東】

池部楽器店 ハートマンギタース
池部楽器店アコースティックステーションリポレ秋葉原
石橋楽器店 池袋店
石橋楽器店 御茶ノ水本店
下倉楽器 お茶の水本店
BIGBOSS お茶の水駅前店 別館
石橋楽器店 渋谷店
ミュージックランド KEY 渋谷店
ヤマハ 銀座店
石橋楽器店 横浜店

【関西】

JEUGIA 草津 A-SQUARE 店
JEUGIA イオンモール久御山店
JEUGIA 三本本店 Stage
石橋楽器店 心齋橋店
石橋楽器店 梅田店
三木楽器 Acoustic INN
ヤマハミュージック 大阪なんば店
JEUGIA イオンモール茨木店
ヤマハミュージック 神戸店

【中国】

ヤマハミュージック 広島店

【九州】

石橋楽器店 福岡パルコ店

【中部】

愛曲楽器 桜山本店
石橋楽器店 名古屋栄店
シライミュージック
ヤマハミュージック 名古屋店
ヤマハミュージック 浜松店

最新情報や
店舗詳細は
こちらから!



真空ホロウ
松本明人 with A5R ARE



今までにない低音がドーン!って出たのが嬉しくて
それ以降ずっと使っています

A5R ARE は 17 年 3 月から使っています。アコギを始めた頃にヤマハの APX3 を買って、そのあとに CPX を長年使っていたんですけど、サムピックで弾いたときの低音感が少し物足りないと思っていたときに A5R ARE と出会って。ライブのモニタリングで今までにない低音がドーン!って出て、それが嬉しくてそれ以降ずっと使っています。この子にはデフォルトがあって、それが全部 5、つまりツマミがフラットの状態。マイク/ピエゾの出力を半々にすると、ふくよかさが出ます。ツマミを振り切ると、ここまでいくのかよ! というほど自由が利くし、その無骨さも嬉しい。実家にあったピアノがヤマハで、ヤマハのピアノ教室に通っていて、初めて買ったエレキギターもディレイもヤマハ。偶然だけど、ヤマハとは何か縁があるんでしょうね。



▲伝統的なウェスタンカッタウェイボディで、A.R.E. 処理が施されたシトカスブルース単板をボディトップに、サイド&バックにはローズウッド単板を使用。SRT2 ピックアップにより、ダイナミックで温かみのあるサウンドを実現。

PROFILE しんくうホロウ / 06 年 始動。メンバーは松本明人 (Vo.Gt)、高原未奈 (Ba.Cho)。09 年、新人コンテスト (RO69JACK 2009) で優勝。12 年、ミニアルバム「小さな世界」でメジャーデビュー。 <http://shinku-horou.com>

LATEST ALBUM
いっそやみさえうけいれて
¥2,037 + 税
Brand-New Music
発売中

山崎あおい with AC3M ARE

バンドの中でも埋もれず、悪目立ちする
わけでもなく、ちょうどいい存在感です



私が好きなアコースティックギターは、まずは見た目がかわいいこと! 持っていてテンションが上がるのが一番なので。それと、試奏するときに必ず「Gコード」の響きを確かめます。G がバランス良く、低音までしっかり鳴るアコギが好きです。

AC3M ARE は、ピックアップを通しての音の音が抜群に良かったので選びました。バンドの中でも埋もれず、かつ悪目立ちするわけでもなく、ちょうどいい存在感です。あとは、ボディが小さくて弾きやすい!

マイクスタンドを前にしても窮屈にならず、のびのび弾いて歌えます。ライブではなぜだか、このギターを弾きながらだと歌いやすいです。声を邪魔しない音だからかな、と個人的には思っています。弾き語りでも重宝します。ヤマハギターは、どんな環境でもしっかりバランスのいい音を出してくれるところが魅力です! 音に弾き心地に、安心感があります。



▲ヤマハ独自の木材改質技術「A.R.E.」を採用することで音の伝達と振動効率を上げ、熟成された味わい深い響きを獲得。SRT2 ピックアップシステムの搭載により、ピエゾとマイクサウンドのブレンド具合を調節可能。

LATEST SINGLE
鯖鯖
¥250 (税込)
※配信限定
18 年 10 月 10 日リリース

PROFILE やまざきあおい / 93 年、札幌出身のシンガーソングライター。高校在学中にヤマハ主催のコンテスト (The 3rd Music Revolution) に出場し、グランプリ & 特別審査員賞を W 受賞。12 年 8 月、アルバム「ツナガル」でメジャーデビュー。 <https://yamazakiaoi.jp>

たんこぶちん
MADOKA with AC3M

1 人での弾き語りのときもバンド演奏のときも
シチュエーションに合わせた音作りができる



AC3M は 4 年以上使っています。使い始めたのは、ミドル〜スローテンポの新曲ができたとき、その曲をライブで演奏するためにアコギを使いたくて、スタッフさんに当時の最新型をオススメしてもらったのがキッカケです。気に入っている点は、機能がたくさんあって、1 人での弾き語りのときもバンド演奏のときも、シチュエーションに合わせているんなバリエーションの音作りができること。ライブでもすごくよく鳴ります! 全体の音のバランスが良く、かき鳴らすのも気持ちいいです。私にとってヤマハギターは、とても身近な存在です。初心者の人でも、ずっとギターを弾いている人でも、どんな人にもマッチすると思います。それに、ヤマハギターは作っている人たちの情熱がすごく伝わって、こだわりが感じられるので、より大切にしなければと思います。



▲高い演奏性を誇るネック背面の仕上げや、新デザインのスキャロップドブレッシングを採用した A シリーズ。ピックアップはシステム 63 で、プロ仕様のマイクサウンドを 3 タイプ内蔵。マイクとピエゾのブレンドも調整可能。

PROFILE たんこぶちん / 07 年、小学 6 年生のときに結成。メンバーは、MADOKA (Vo.Gt)、YURI (Gt)、CHIHARU (Kb)、NODOKA (Ba)、HONOKA (Dr)。13 年 1 月、(6th Music Revolution) JAPAN FINAL にて優秀賞を獲得。同年 7 月、シングル「ドレミ FUN LIFE」でメジャーデビュー。ライブ・イベント出演の詳細は公式サイトにて。 <http://tancobuchin.jp>

LATEST SINGLE
プロローグ / 大丈夫
¥926 + 税
YAMAHA MUSIC COMMUNICATIONS
発売中





株式会社ヤマハミュージックジャパン

<https://jp.yamaha.com/guitar/>

仕様や取扱についてのお問い合わせ先

お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラムご相談窓口

☎0570-056-808 受付時間：月曜～金曜 10:00～17:00（土日・祝日・センター指定休業日を除く）

▼ヤマハギター女子スタイル

▼Yamaha Guitar Japan

